

學 部 彙 報

彙 報

教員の主な研究活動・社会活動（2005 年度以降）

※各学科ごと、教員五十音順に掲載

福祉コミュニティ学科

伊 藤 健 次

1. 主な研究活動

〈著書〉

1、「対人援助・生活相談サポートブック」 共著
中央法規出版 2008

2、「介護福祉士受験対策講座 合格力養成テキスト③」 共著 ニチイ学館 2007 65-100 頁
〈論文〉

1、「過疎農山村地域に暮らす後期高齢者の現在
および今後の生活に対する思い—Y県A町のひと
り暮らし高齢者へのインタビューから—」
共著『山梨県立大学看護学部紀要』11号 2009
27-37 頁

2、「実習段階に応じた学生指導の方法に関する
—考察—第一・第二段階実習を比較して—」
単著『山梨県立大学人間福祉学部紀要』第3号
2008 33-44 頁

3、「介護実習におけるリアリティショック—そ
の様相と肯定的側面について—」 単著『山梨
県立大学人間福祉学部紀要』第2号 2007
11-18 頁

4、「社会福祉士養成のあり方に関する一考察—
地域包括支援センターに対する山梨県社会福祉
士会会員の意識調査を通して—」 単著『山梨
県立大学人間福祉学部紀要』第1号 2006
31-42 頁

〈報告書〉

1、「学際統合型専門職連携教育開発プロジェク
ト中間報告書」 共著 山梨県立大学教育 GP
執行部 2009

2、「看護職と介護職の連携に関する調査 報告
書」『山梨県立大学地域研究交流センター平成

19 年度研究』 2008 37-54 頁

3、「動作解析ソフトウェアを活用した介護・看
護・リハビリ分野に共通する動作の分析Ⅱ 報
告書」『山梨県立大学地域研究交流センター平
成 19 年度共同研究』 2008

4、「少子高齢化時代の地域ネットワーク：多参
画社会の構築と人材養成Ⅱ 報告書」『山梨県
立大学地域研究交流センター平成 18 年度研究』
2007

5、「動作解析ソフトウェアを活用した介護・看
護・リハビリ分野に共通する動作の分析 報告
書」『山梨県立大学地域研究交流センター平成
18 年度共同研究』 2007

6、「少子高齢化時代の地域ネットワーク：多参
画社会の構築と人材養成 報告書」『山梨県立
大学地域研究交流センター平成 17 年度研究』
2006

2. 主な社会活動

①主な所属学会・研究団体、行政機関・関係団体
等審議会等活動

日本認知症ケア学会：認知症ケア専門士認定試
験面接審査員・論文審査員 2006 年～

認知症ケアジャーナル査読委員 2008 年～

日本介護教育学会

山梨県社会福祉士会：研修委員 2006 年～

山梨県介護福祉士会：介護福祉士養成実習施設
実習指導者特別研修企画委員 2008 年～

②主な研修会・講演会等の活動（地域貢献活動を
含む）

1、神奈川県横浜市戸塚区主任ケアマネ事例検討
会スーパーバイザー 2007 年～

2、神奈川県横浜市栄区主任ケアマネ事例検討会
スーパーバイザー 2007 年～

- 3、甲府市ケアマネ連絡会事例検討会スーパーバイザー 2007 年～
- 4、川崎市市民セミナー講師 2005 年 11 月 10・29 日 2006 年 6 月 14・27 日
- 5、高大連携事業 甲府城西高校「家庭看護・福祉」出張講義「介護の基礎の基礎」、2007 年 5 月 22 日、2008 年 12 月 16 日、2009 年 10 月 20 日
- 6、介護労働安全センター「ホームヘルパー 1 級養成研修」講師 2006 年 3 月 15 日、11 月 2 日
- 7、介護老人保健施設トリアス施設研修講師 2006 年 8 月 10・31 日
- 8、神奈川県「主任ケアマネージャー研修」ファシリテーター 2007 年 2 月 22・26・27 日 3 月 2 日
- 9、浴風会ケアスクール「介護支援専門員試験対策講座」講師 2007 年 8 月 4 日
- 10、ダスキンゼロケア「福祉用具専門相談員指定講習会」講師 2007 年 8 月 12 日
- 11、山梨県社会福祉士会研修講師「次世代の社会福祉士に何を伝えるか」2007 年 10 月 11 日
- 12、横浜市介護支援専門員連絡協議会研修会講師 2007 年 10 月 19 日
- 13、介護教員講習会「実習指導方法」講師 2007 年 10 月 26～28 日
- 14、第三回県民コミュニティー・カレッジコーディネーター 2007 年 11 月 19 日
- 15、山梨県ホームヘルパー協会「介護のお悩み解消塾」講師 2007 年 9 月 16 日、10 月 14 日
- 16、介護福祉士養成校協会関東信越ブロック教員研修第一部会報告者 2008 年 7 月 7 日
- 17、山梨県介護支援専門員専門研修課程・更新研修 I 講師 2008 年 7 月 15・22・29 日
- 18、山梨県ホームヘルパー協会・山梨県介護福祉士会介護合同セミナー講師 2009 年 1 月 31 日
- 19、介護実習普及センター「介護職員指導者研修」講師 2009 年 2 月 3・4・16・19 日
- 20、神奈川県老人保健施設協会「支援相談員部会新人研修」講師 2009 年 9 月 4 日
- 21、身体障害者療護施設はまなし寮専門研修講

師 2009 年 10 月 8 日

- 22、社会福祉法人愛寿会「介護福祉士国家試験対策」講師 2009 年 10 月 9 日

大塚ゆかり

1. 主な研究活動

〈著書〉

- 1、共著「精神保健福祉士の基礎知識」中央法規出版、2006 年 5 月、P.175～178
- 2、共著「精神保健福祉援助技術総論」中央法規出版、2007 年 1 月、P.250～256
- 3、共著「第二版社会人のための精神保健福祉士」学文社、2008 年 11 月、P.2～12
- 4、共著「障害者福祉・支援論」第一法規出版、2009 年 4 月、P.171～172、P.236～239
- 5、共著「在宅医療辞典」中央法規出版、2009 年 11 月、P.184

〈論文〉

- 1、単著「障害者雇用促進法施行後の現状」日本精神保健福祉士協会誌『精神保健福祉 72 号』2007 年 12 月、P.382～384

2. 主な社会活動

- ①主な所属学会・研究団体、行政機関・関係団体等審議会等活動

日本精神保健福祉士協会、日本社会福祉学会、日本精神科リハビリテーション学会、SST 普及協会、日本精神衛生学会 他

東京都豊島区障害福祉計画策定委員（2006 年 4 月～2007 年 3 月）

- ②主な研修会・講演会等の活動（地域貢献活動を含む）

研修会「精神障害者の就労支援」『職業リハビリテーション推進フォーラム』

北海道旭川市「おびった」にて、2007 年 10 月 29 日

研修会「こころのケアと社会資源」『東京多摩いのちの電話相談員研修会』

東京都国立市、2007 年 11 月 17 日

研修会「精神障害について I、II」『東神楽町精神保健福祉ボランティア講座』

北海道東神楽町センター、2008年6月10日、24日

研修会「ピアカウンセリングセミナー」『旭川地域生活支援事業』

北海道旭川市「常盤市民ホール」、2008年9月21日～23日、2009年10月11日～13日
研修会「ピアカウンセリングセミナー」『北海道精神障害者地域生活支援事業』

北海道札幌市道庁、2009年3月12日、13日
社会福祉法人「JHC 板橋会」監事

神山 裕美

1. 主な研究活動

〈論文〉

- (1) 単著「遠野市におけるフィールドワーク研究」『健康いきいきノートを活用した介護予防と自己実現プログラム開発に関する研究報告書』日本生命財団高齢社会実践的研究助成、2005年10月、P.9～P.50
- (2) 単著「ジェネラリスト・ソーシャルワークによるストレングス視点～地域生活支援に向けた視点と枠組み～」『山梨県立大学人間福祉学部紀要』第1号、2006年3月、P.1～P.10
- (3) 単著「ジェネラリスト・ソーシャルワークに基づくストレングス視点の活用～地域における高齢者の介護予防と生活支援への適用を通して～」『日本社会事業大学大学院博士論文』、2007年3月
- (4) 単著「ストレングス視点の活用と展開～地域における高齢者の介護予防と生活支援を通して～」『山梨県立大学人間福祉学部紀要』第2号、2007年3月、P.19～P.30
- (5) 単著「介護保険制度でコミュニティソーシャルワークの視点はどのように活用できるか」『介護支援専門員』vol.10 No.6 メディカルレビュー社、2008年11月、P.15-18
- (6) 単著「高齢者へのストレングス視点による支援方法とコミュニティソーシャルワークの活用」、『コミュニティソーシャルワーク実践の体系的なスキルの検証及び教育方法の開発』平成19・20年度科学研究費補助金（基盤研究B）研究

成果報告書、2009年3月、P.89～104

- (7) 単著「高齢者へのストレングス視点による面接と支援方法」『コミュニティソーシャルワーク』3号、中央法規2009年6月、P.59-67（査読あり）

〈著書〉

- (1) 共著「社会福祉士養成講座 15 社会福祉援助技術演習 第2版」中央法規、2005年1月、P.31～123（演習課題）、P.168～192（ソーシャルワーク実践事例）
- (2) 共編「対人援助・生活相談サポートブック」中央法規、2008年2月
- (3) 単著「地域トータルケアシステムの事例」『新・社会福祉士養成講座 9 地域福祉論の理論と方法』中央法規、2009年3月、P.248-252
- (4) 単著「サービス評価に関する相談援助事例」『社会福祉士相談援助演習』中央法規、2009年9月、P.222～227

〈翻訳、その他〉

- (1) 「CSW 実践事例：ストレングス視点での高齢者支援」『コミュニティソーシャルワーク 1号』中央法規、2008年5月、P.35-39
- (2) 「解説：遠野市の福祉実践」『コミュニティソーシャルワーク 1号』中央法規、2008年5月、P.53-56
- (3) 「資源の獲得」、チャールズラップ・リチャードボスチャ著：田中英樹監訳『ストレングスモデル』、金剛出版、2008年12月、P.226-251〈学会発表〉
- (1) 共同「健康いきいきノートを活用した介護予防と自己実現プログラムに関する研究」日本地域福祉学会、日本福祉大学、2005年10月
- (2) 共同「小地域を基盤とした介護予防プログラム」日本地域福祉学会、長崎国際大学2006年6月
- (3) 単独「ジェネラリスト・ソーシャルワークによるストレングス視点～地域生活支援に向けた視点と枠組み～」日本社会福祉学会、立教大学、2006年10月
- (4) 単独「ストレングス視点の活用～高齢者の介

「護予防と生活支援を通して～」日本社会福祉学会、大阪市立大学、2007年10月

- (5) 共同「高齢者の自己実現・生き甲斐活動支援者養成プログラム開発～ストレングス視点に着目した養成研修プログラムとその評価～」日本地域福祉学会、同志社大学、2008年6月

- (6) 共同「The Process of Development of a Web System for Evaluating Elderly Persons with Dementia Living at Home」International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science、神戸コンベンションセンター、2009年9月、「認知症高齢者の学際的チームアプローチに関するケアの質評価システムの開発」平成19-21年度科学研究費補助金基盤研究(B)連携研究者：ポスター報告)

- (7) 共同(教育GPワーキングチーム)「地域包括支援センターをフィールドとした教育プログラムの実施状況と課題」、日本保健医療福祉連携教育学会、千葉大学、2009年10月

2. 主な社会活動

- ①主な所属学会・研究団体、行政機関・関係団体等審議会等活動

日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、日本保健医療福祉連携教育学会

日本認知症ケア学会 関東甲信越部会委員
(2005年6月～現在)

特定非営利活動法人高齢者を支える学際的チームアプローチ推進ネットワーク理事
(2007年6月～現在)

特定非営利活動法人日本地域福祉研究所理事
(2009年4月～現在)

東京都豊島区地域保健福祉計画策定委員
(2007年10月～2009年3月)

豊島区新庁舎建設区民ワークショップ・コーディネーター (2008年11月～2009年4月)

豊島区地域包括支援センター連絡協議会会長
(2008年6月～現在)

豊島区社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーク・スーパーバイザー (2009年4月～現在)

豊島区保健福祉審議会委員

(2009年10月～現在)

山梨市社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員
(2009年8月～現在)

- ②主な研修会・講演会等の活動(地域貢献活動を含む)

「生活指導員の役割～ジェネラリストソーシャルワークの視点から～」『全国老人福祉施設協議会全国大会』パシフィコ横浜 2008年10月

「対人援助の支援方法」『小山市介護支援専門員連絡協議会』栃木県小山市 2008年9月

「地域包括支援センター研修：コミュニティソーシャルワーク視点と方法」『葛飾区保健福祉部』2008年11月、『目黒区保健福祉部』東京都目黒区役所 2009年3月

「これからの地域福祉とコミュニティソーシャルワーク」『練馬区保健福祉部』2009年3月

「ソーシャルワーク理論モデルの活用」『山梨県社会福祉士会』2008年9月、2009年9月

「コミュニティソーシャルワーク講義と事例のスーパーバイズ」『日本地域福祉研究所』目白大学・東京弘済会館・東京大橋会館・日本科学館・島根県社会福祉協議会・岩手県社会福祉協議会・山梨県社会福祉協議会等
2006年7月～現在

「主任介護支援専門員研修：コミュニティソーシャルワーク」『総合健康推進財団』埼玉県・茨城県で年1回開催 2007年～現在

「地域包括支援センターとCSW」『地域福祉実践研究セミナーワークショップ』沖縄県浦添市・島根県松江市・秋田県藤里町・北海道名寄市で2005・2006・2008・2009年8月開催

川 池 智 子

1. 主な研究活動

〈著書〉

- 1 編著、社会福祉の新潮流②『児童家庭福祉論－基本と事例－』学文社、2005 年 4 月

担当部分

全体の企画・編集

プロローグ－子どもたちの〈居場所〉はどこに消えたのか i－iii 頁

第 1 章❶児童家庭福祉とは何か 4－13 頁

第 2 章 少子社会における「子育て・子育て支援」、41－65 頁

エピローグ－子どもの〈居場所〉創りから地域の再生へ 205－207 頁

- 2 共著、社会福祉の新潮流③『障害者福祉論－基本と事例－』学文社、2007 年 6 月

担当部分

第 2 章❶障害との出会い

❷育つ 32－42 頁

第 4 章❸障害者の生活支援の法体系とサービス体系 (2) (3) 112－123 頁

〈論文〉

- 1 単著「『子育て・子育て支援』をめぐる保育政策の課題（その 3）－障害児等、特別な配慮を必要とする子どもと親への支援－」『山梨県立大学人間福祉学部紀要』第 1 号、2006 年 3 月、43－64 頁
- 2 単著「保育者の『子育て支援』に関わる専門性とリカレント教育（その 1）－山梨県内の保育士アンケート調査結果：『研修』に関する自由記述の分析を中心に－」『山梨県立大学人間福祉学部紀要』第 3 号、2008 年 3 月、19－32 頁
- 3 単著「保育者の『子育て支援』に関わる専門性とリカレント教育（その 2）－“障がいをもつ子” “発達障の気になる子” の子育て支援の課題を通して」『山梨県立大学人間福祉学部紀要』第 4 号、2009 年 3 月、31－46 頁
- 4 単著「ソーシャルワーカー・リカレント講座の意義と展望－ドナルド・ショーンの“省察的専門家”モデルをてがかりに－」『山梨県立大学地域研究交流センター・人間福祉学部共催・

ソーシャルワーカー・リカレント講座 2007 報告書』2008 年 3 月、24－31 頁

〈研究報告書〉

- 1 平成 19 年度 山梨県立大学人間福祉学部助成研究 報告書『子育て・子育て新時代－保育が拓く地域力－』、2008 年 3 月、全 139 頁
 - 2 障害者自立支援法時代の基礎自治体における地域生活支援の人材開発～山梨モデルの研究～、（研究代表者：反町誠 共同研究者：川池智子ほか学外者 5 名）山梨県立大学地域研究交流センター 2007 年度研究報告書、2008 年 3 月、担当箇所は共同執筆のため抽出不可能
- 〈報告書企画作成〉
- 1 山梨県立大学地域研究交流センター・人間福祉学部共催・ソーシャルワーカー・リカレント講座 2007 報告書、2008 年 3 月、
 - 2 山梨県立大学地域研究交流センター・人間福祉学部共催・ソーシャルワーカー・リカレント講座 2008 報告書、2009 年 3 月
 - 3 山梨県立大学地域研究交流センター・特別講座 シンポジウム報告書「子どもがあぶない」、2009 年 3 月
- 〈外部の研究助成研究〉
- 1 研究代表者 平成 19～20 年度文部科学省・科学研究費助成研究 基盤研究 (C)「障害を持つ乳幼児と親に向けての包括的支援ネットワークに関する地域モデルの研究」

2. 主な社会活動

- ①主な所属学会・研究団体、行政機関・関係団体等審議会等活動

〈行政機関審議会等活動〉

- 1 山梨県障害者施策推進協議会 委員
(2006 年 11 月～現在に至る)
- 2 甲府市地域自立支援協議会全体会 会長
(2007 年 12 月～現在に至る)
- 3 発達障害等支援・特別支援教育総合推進事業 [山梨県教育委員会・甲府市教育委員会 事業] 相談支援ファイル検討委員会 会長
(2008 年 12 月～現在に至る)

〈民間福祉関係団体等での活動〉

- 1 甲府市障害児者地域支援連絡会 すくらむ
顧問 (2005 年 2 月～現在に至る)
- 2 NPO 法人 支援の輪 マザーズ 監事 (2005
年 9 月～2009 年 9 月まで)

②主な研修会・講演会等の活動 (地域貢献活動を含む)

〈研修講師・コーディネーター等〉

- 1 発達障害への配慮と援助 学習会 講師・テーマ「発達障害、診断後の配慮と支援」、NPO 法人 杜の風 キッズクラブひまわり・就業・生活支援センター陽だまり主催、2007 年 7 月 10 日、場所：NPO 法人 杜の風 キッズクラブひまわり
- 2 ソーシャルワーカー・リカレント講座 2007 第 1 回 企画・コーディネーター (講師・福山和女氏 テーマ：ファミリー・ソーシャルワーカー家族の大切さについて)、2007 年 10 月 31 日、場所：山梨県立大学サテライト教室
- 3 ソーシャルワーカー・リカレント講座 2007 第 2 回 コーディネーター (講師・ルース・キャンベル氏 テーマ：高齢者と家族支援へのソーシャルワーカーの役割) 2007 年 11 月 28 日、場所：山梨県立大学サテライト教室
- 4 地域研究交流センター特別講座・シンポジウム 子どもがあぶない 企画・コーディネーター、2008 年 2 月 23 日、場所：笛吹市スコレーセンター
- 5 ソーシャルワーカー・リカレント講座 2008 第 1 回 企画・コーディネーター (講師・前田ケイ氏・テーマ：新しいグループワークのプログラム：認知行動療法による SST の理論と実際)、2008 年 10 月 29 日、場所：山梨県立大学サテライト教室
- 6 ソーシャルワーカー・リカレント講座 2008 第 2 回 企画・コーディネーター (講師・小野興子氏・テーマ：福祉主体の終末期ケアを考える)、2008 年 11 月 26 日、場所：山梨県立大学サテライト教室
- 7 山梨県立大学地域研究交流センター・特別講座 シンポジウム「子どもがあぶない」企画・

コーディネーター、2008 年 2 月 23 日、場所：
笛吹市スコレーセンター

- 8 山梨県保育協会 主任保育士研修会 講師、
テーマ：発達障害児について、2008 年 11 月
27 日、場所：ベルクラシック甲府
- 9 山中保育所保護者会研修会 講師 テーマ：
子どもを伸ばす子育てとは－親子で“幸福”に
生きる七つの方法－2009 年 2 月 5 日、場所：
山中湖村立山中保育所
- 10 福岡市私立保育士総会 講演会講師、テー
マ：“障がい児”“障がいかもしれない子”の保
育を豊かなものにする 7 つの方法、2009 年 5
月 23 日、場所：福岡市少年科学文化会館

城戸 裕子

1. 主な研究活動

〈論文〉

1. 城戸裕子・今井幸充・佐藤亜紀子「認知症高齢者地域支援包括プロジェクト(1)」『社会事業研究第 46 号』2005
2. 今井幸充、城戸裕子「認知症の心理と行動症状 BPSD の評価尺度」、科学評論社『精神科』2006 年 9 月 16-24 ページ
3. 今井幸充・城戸裕子・佐藤亜紀子・東畠弘子・藤原庸隆・西元幸雄・原田重樹「四日市市認知症高齢者のための地域医療と福祉サービスの連携に関する実態調査－臨床医調査－」『老年精神医学雑誌』第 17 巻 増刊号－I、183 ページ
4. 今井幸充・城戸裕子『認知症を地域で支える：専門家グループの役割』からだの科学 251 号 特別企画、2006 年 9 月《特集テーマ》認知症のすべて
5. 「介護老人福祉施設で働く専門職の連携の意識：福祉サービス第三者評価を通して」、2006 年、『山梨県立大学 人間福祉学部紀要』57-65 ページ
6. 「認知症高齢者が地域で暮らす支援としての医療と福祉の連携について－連携についての医療と福祉の意識調査から－」日本社会事業大学大学院修士論文、2007
7. 城戸裕子・吉田滋・小佐々典靖「介護保険に

於ける第二号被保険者に対する居宅介護サービス提供に関する一考察 居宅介護支援事業所実態調査結果についての分析」、『山梨県立大学 人間福祉学部紀要』2007 9-17 ページ

8. 「居宅介護支援サービス事業所における介護支援専門員の業務実態に関する研究～第二号被保険者へのサービス提供実態調査～」、『日本社会事業大学 社会福祉論叢』2008
9. 「介護保険制度改正によるサービス提供事業者への影響～居宅介護支援事業所と福祉用具供給事業所へのアンケートより～」、『日本社会事業大学社会事業研究』2008
10. 「脊髄性筋萎縮症 (SMA) を抱える一障害者のライフ・ステージの変化と必要な支援の変化についての考察 (A consideration about changes of life stage for a person with Spinal Muscular Atrophy (SMA) and about changes for various support services)」、『山梨県立大学 人間福祉学部 紀要』2008 9-19 ページ
11. 「介護支援専門員の性格因子とストレス対処能力との関連性の研究～個人質問票作成の過程から実施へのプロセス～」、『日本社会事業大学 社会福祉論叢』2009

〈研究助成関係〉

1. 文部科学省科学研究(基礎研究 B)今井(主任・統括)研究班「認知症高齢者の生活を支える地域医療福祉連携システム構築のための介入研究」、2006～2008
2. 「認知症高齢者介護家族支援のためのネットワークに関する検討」、独立行政法人福祉医療機構助成事業、2006
3. 小佐々典靖・城戸裕子「介護保険制度指定介護支援サービス事業者による障害者居宅サービスについて～障害の多様化による介護サービス・福祉用具供給の拡大について～」、第 17 回財団法人フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団、2006
4. 城戸裕子・小佐々典靖「介護保険制度における第二号被保険者に対するサービス提供の実態に関する研究～高齢者福祉サービスと障害者福

祉サービスの今後の課題について～」、『山梨県立大学地域研究交流センター 2007 年度 研究報告書』

〈著書等〉

1. 城戸裕子他「社会福祉士国試対策 '10」医学評論社、2009
2. 城戸裕子他「2010 年版 U-CAN の社会福祉士速習レッスン(基礎科目)」、ユーキャン社会福祉士試験研究会、2009
3. 城戸裕子他「イラストで見る社会福祉用語事典」、医学評論社、2009 年 12 月
4. 城戸裕子他 「在宅医療辞典」、中央法規、2009、p18

2. 主な社会活動

①主な所属学会・研究団体、行政機関・関係団体等審議会等活動

日本老年社会科学会 会員 (現在に至る)
 日本認知症ケア学会 会員 (現在に至る)
 山梨県福祉サービス評価推進機構 研究部会委員 (現在に至る)
 山梨県認知症リーダー研修会 講師
 (現在に至る)

日本社会福祉学会 会員 (現在に至る)
 日本保健福祉学会 会員 (現在に至る)
 NPO 法人 福祉経営研究会 会員(福祉サービス第三者評価機構) (現在に至る)
 みずほ総合研究所 相談部 (福祉サービス第三者評価機構) (現在に至る)

②主な研修会・講演会等の活動(地域貢献活動を含む)

平成 19、20、21 年度 認知症介護実践研修「実践リーダーの役割と視点」
 平成 19 年 9 月 長野県 伊那弥生ヶ丘高等学校 PTA 進路セミナー「大学模擬授業」
 平成 19 年、20 年、21 年度 山梨県福祉サービス評価者養成研修会 「評価項目の着眼点」「第三者評価の実践」
 平成 20、21 年度 山梨県福祉サービス評価者養成研修会評価者フォローアップ研修
 平成 20 年 1 月 世田谷区福祉事業団 介護福

祉士国家試験対策講座

平成 21 年 9 月 千葉大学大学院 看護学研究
科 「訪問看護師として再就職したい看護職
者を支援する学び直しプログラム開発」

齊藤 秀子

1. 主な研究活動

〈論文 他 3 点〉

1. 共著「運動時の体表振動特性とレオタードの
体表振動抑制効果」『デサントスポーツ Vol.26』
2005 年 6 月、P.110-119
2. 共著「Seasonal Changes of Clothes in
Sugamo Town Today、the Third Interna-
tional Conference on Human-Environment
System、Sep.」2005
3. 共著「CAD とロックミシンを用いたランニ
ング型カットソー作製による被服製作教育の試
みー介護福祉士養成のための題材としてー」
『高崎健康福祉大学紀要』第 7 号、2008 年 3
月、P.109-122
4. 共著「高齢者の衣服について（その 3）」『大
妻女子大学家政系研究紀要』第 44 号、2008
年 3 月、P.75-92
5. 共著「着衣の熱抵抗に関する研究（その 1）ー
ウォームビズに対する着衣方法の検討」『大妻
女子大学家政系研究紀要』第 45 号、2009 年
3 月、P. 75-88

〈研究報告・ノート 他 1 点〉

1. 共著「研究報告、補整下着、化粧、美容整形
に対する意識についての事例的研究ー若年群と
中年群との比較ー」『日本衣服学会誌』50 卷
1 号、2006 年 10 月、P.43-51
 2. 共著「ノート、高齢者を対象とした靴下につ
いての聞き取り調査」『山梨県立大学人間福祉
学部紀要』第 2 号、2007 年 3 月、P.75-88
- 〈学会発表 他 13 件〉
1. スエーデンにおける衣服に関わる介護の現状
と身障者のためのファッションデザイン、(株)日
本家政学会第 61 会大会、2009 年 8 月
 2. 介護に関わる市販および製作衣服展示の試み、
(株)日本家政学会第 61 会大会、2009 年 8 月

〈報告書 他 5 件〉

1. 共著、福祉の視点からみた服飾文化の形成に
ついてー日欧服飾文化の比較と教育プログラ
ムの開発ー服飾文化共同研究拠点、文化ファッ
ション研究機構、文化女子大学、服飾文化共同研究
報告 2008、2008 年 6 月 26 日

〈展示 他 3 件〉

1. 展示「いつでも誰でもおしゃれにーサポート
ファッションのすすめー」2009 年、10/
21~11/2210/4 山梨県立大学ほか 3 箇所

2. 主な社会活動

- ①主な所属学会・研究団体、行政機関・関係団体
等審議会等活動

日本家政学会「学会誌編集委員」

(2006 年 6 月~2009 年 5 月)

日本生理人類学会「和文誌編集委員」

(1998 年 11 月~)

日本生理人類学会「評議員」

(2007、2008 年度)

日本家政学会被服構成学部会幹事 (2007 年~)

- ②主な研修会・講演会等の活動 (地域貢献活動を
含む)

県民コミュニティカレッジ講師 2007 年 10 月

山梨県職業能力開発審議会委員 2008 年 11 月

坂本 玲子

1. 主な研究活動

〈論文〉

1. 共著「Effectiveness of Aroma on Work Ef-
ficiency: Lavender Aroma during Recesses
Prevents Deterioration of Work Perform-
ance」『Chem.Senses』30、2005 年 9 月、
683~691 ページ
2. 共著「短期大学カウンセリングルームにおけ
る 7 年間の軌跡ー大学カウンセリングのありか
たをめぐるー」『山梨県立女子短期大学紀要』
第 38 号、2005 年 3 月、61~68 ページ
3. 単著「香りの不眠治療における実用性」『精
神科』(科学評論社) Vol.7 No.5、2005 年 11
月、437~441 ページ

4. 共著「新設大学におけるカウンセリング体制づくりについてーCMI 健康調査表を軸とした初年度の展開ー」『山梨県立大学人間福祉学部紀要』第1号、2006年3月、73～80 ページ
 5. 共著「新設大学におけるカウンセリング体制作りについて：CMI 健康調査表を軸とした展開ーその2ー」『山梨県立大学人間福祉学部紀要』第2号、2007年3月、67～73 ページ
 6. 共著「Two cases of young adults sleep-walking」『Sleep and Biological Rhythms』Vol 5-4、2007年10月、291～293 ページ
 7. 共著「Do you perform the multiple sleep latency test according to the guidelines? A case with multiple sleep onset REM periods.」『Sleep and Biological Rhythms』Vo 6-1、2008年1月、53～55 ページ
 8. 共著「新設大学におけるカウンセリング体制作りについてーその3ー：新入生へのGHQ 精神健康調査票を軸とした展開」『山梨県立大学人間福祉学部紀要』第3号、2008年3月、75～80 ページ
 9. 単著「親と子の今と「カウンセリング」の必要性について」『四天王寺カウンセリング講座』第8巻、2008年6月、115～139 ページ
 10. 単著「アドラー、人と思」『児童心理：子どもを勇気づける心理学』（金子書房）臨時増刊 No 888、2008年12月、150～156 ページ
 11. 単著「愛とこころの悩み・健康ーアドラー心理学の立場からー」『こころの科学：こころの悩みに強くなる、原田誠一編』（日本評論社）第144号、2009年3月、22～27 ページ
 12. 単著「大学生の睡眠傾向について」『山梨県立大学人間福祉学部紀要』第4号、2009年3月、51～58 ページ
- 〈翻訳〉
1. 共訳・監訳「現代に生きるアドラー心理学ー分析的認知行動療法を学ぶー」一光社、2006年8月
- 〈学会発表〉
1. 共同発表「南極と日本における血清メラトニンリズムの季節性変動」第30回日本睡眠学会、

2005年6月

2. 単独発表「アルコール依存症の回復過程を進む一症例について」第9回日本認知療法学会、2009年10月
- 〈報告書〉
1. 共同調査報告「山梨県内で働く介護関連職種の職業性ストレスの実態と社会的スキルとの関係について」産業保健実態調査報告（平成17・18年度研究）、労働者健康福祉機構：山梨産業保健推進センター、2007年3月

2. 主な社会活動

- ①主な所属学会・研究団体、行政機関・関係団体等審議会等活動

〈学会〉

東京精神医学会 1993年～、日本精神神経学会 1993年～、日本精神病理・精神療学会 1995年～、日本認知療法学会「幹事」2001年～、日本不安学会「評議員」2007年～

〈関係団体〉

山梨県精神医療審査会委員 2006・2007年、山梨親学委員 2007年、個人情報保護法審査委員 2008・2009年

- ②主な研修会・講演会等の活動（地域貢献活動を含む）

〈2005年度講演：24回〉以下抜粋

子どもの心に愛の基地『子育て支援講演会』かおり幼稚園、6月25日

身体の成長と心の成長『中学生のための生命尊重学習会』聖ヨゼフ学園、7月12日

精神保健『介護福祉士陽性講座』地場産業振興センター、10月29日

〈2006年度講演：28回〉以下抜粋

思春期の始め方について『小学校6年生と語る会』武川小学校、7月7日

精神保健『食生活推進委員会』甲府市役所南庁舎、10月24日

10才でおとなになる君たちに『小学生と語る会』牧丘第三小学校、2月22日

〈2007年度講演：37回〉以下抜粋

保育のこころ『子育て支援講習会』甲府市環境

センター、11月6日

課題の分離『看護領域におけるメンタルスキル』

社会保険山梨病院、11月30日

映画に見る精神疾患『精神疾患を知る』ヒュー

マンギルド、3月29・30日

〈2008年度講演：38回〉以下抜粋

勇気づけで子どもを育てる『あんばんくらぶミ

ニ講座』聖愛幼稚園、5月に3回

看護師の心の健康『峡東看護研究会特別講演』

東山梨市合同庁舎、5月27日

介護に関わるメンタルヘルス『介護支援専門員

連絡会議』山梨市勤労福祉センター、6月

20日

青年期の発達課題について『教育相談研修会』

日川高等学校9月17日

〈2009年度講演：36回〉以下抜粋

愛と共同体感覚『峡北母と女性教員の会』須玉

ふれあい館、6月27日

子どもの心の発達『保育サポーター要請講座』

笛吹市、10月3、7日

思春期の子ども達とのつきあい方『学校評価推

進校講演』北杜市泉中、10月20日

佐野ゆかり

1. 主な研究活動

〈著書〉

- 1、共著「学びの基礎を探る 第6章 レポートを書くには」、2007年3月、共著者：山梨県立大学基礎演習研究会、斉藤秀子、佐野ゆかり、吉田雅彦、大西康雄、小沢典夫、戸田徹子、浜崎紘一、前澤哲爾、箕浦一哉、大澤準一、藤谷秀、小田切厚美

〈翻訳〉

- 1、分担、ディビッド・スミス著「福祉が人を弄んだとき—知的障害をもつジョンの人生史」西村章次監訳、担当「第2章 先生はそのことについてどうなさるおつもりなのですか?」、2006年4月、15~26ページ、ミネルヴァ書房

〈報告書〉

- 1、単著、平成16年度文化庁委嘱事業 伝統文化活性化国民協会助成「こども日本舞踊教室実

施報告書」、2005年4月

- 2、単著、平成17年度文化庁委嘱事業 伝統文化活性化国民協会助成「こども日本舞踊教室実施報告書」、2006年4月

- 3、単著、平成18年度文化庁委嘱事業 伝統文化活性化国民協会助成「こども日本舞踊教室実施報告書」、2007年4月

- 4、共著、「学びの基礎を探る—生涯学習の現場での利用に向けて—」、2008年3月、共著者：山梨県立大学基礎演習研究会

- 5、単著、平成19年度文化庁委嘱事業 伝統文化活性化国民協会助成「こども日本舞踊教室実施報告書」、2008年4月

〈学会等における発表〉

- 1、「コミュニケーション態度非良好な症例の長期経過と家族との連携：家族から見た言語訓練と、6歳~16歳（A群~C群）の行動」、2007年9月15日、言語発達障害研究会 第59回定例会、イベントホール EBIS 303（恵比寿）
共同発表者：小寺富子

- 2、「日本舞踊の基礎」（日本舞踊 デモンストレーション）、2007年10月27日、比較舞踊学会 第18回大会、青山学院女子短期大学

〈舞台発表（日本舞踊）〉

- 1、「日本舞踊の基礎」、2005年5月7日、第20回 舞踊への招待 目白三人の会~3つのダンスの世界~、東京芸術劇場中ホール

- 2、「日本舞踊の基礎」、2006年3月19日、文化庁委嘱事業 第3回 こども日本舞踊教室成果発表会、さいたま市与野本町コミュニティーセンターホール

- 3、「女役のための体作り」「女の歩き方とすべり方」「長唄 娘道成寺より」、2006年4月22日、第21回 舞踊への招待 目白三人の会~3つのダンスの世界~、東京芸術劇場中ホール

- 4、「日本舞踊の基礎」、2007年3月25日、文化庁委嘱事業 第4回 こども日本舞踊教室成果発表会、さいたま市与野本町コミュニティーセンターホール

- 5、「清元 傀儡師」、2007年4月1日、第57回八千代会、東京芸術劇場中ホール

- 6、「創作舞踊 あやとり」、2007年9月2日、第22回 舞踊への招待 目白三人の会～3つのダンスの世界～、東京芸術劇場中ホール
- 7、「日本舞踊の基礎」、2008年3月23日、文化庁委嘱事業 第5回 こども日本舞踊教室成果発表会、さいたま市与野本町コミュニティーセンターホール
- 8、「清元 お祭り」、2008年6月19日、第23回 舞踊への招待 目白三人の会～3つのダンスの世界～、東京芸術劇場中ホール
- 9、「長唄 供奴」、2009年5月4日、第58回 八千代会、国立劇場 大劇場

2. 主な社会活動

①主な所属学会・研究団体、行政機関・関係団体等審議会等活動

日本体育学会 1974年4月～
 日本特殊教育学会 1990年8月～
 日本社会福祉学会 1998年4月～
 日本スポーツ精神医学会「評議員」
 2002年9月～
 社会福祉法人鴻沼福祉会「評議員」
 1990年8月～

②主な研修会・講演会等の活動（地域貢献活動を含む）

〈ワークショップ講師〉

- 1、「クリエイティブダンス源人」（障害者との共同ワーク）実技指導 1997年11月～
- 2、文化庁委嘱事業「こども日本舞踊教室」実行委員会 会長・実技指導 2003年10月～
- 3、「音と動きのワークショップ」、特定非営利活動法人 ストロベリーハート主催、「知的障がい者のための音楽体験セミナー」、2008年8月2日～3日、埼玉県立長瀬げんきプラザ

反町 誠

1. 主な研究活動

〈著書〉

- 1、共著「精神科リハビリテーション学」日本精神保健福祉士協会『精神保健福祉士受験ワークブック専門科目編 2006』中央法規出版、2005年7月、114～161 ページ
- 2、共著「単身アパート」精神障害者社会復帰促進センター・財団法人全国精神障害者家族会連合会・精神保健福祉白書編集委員会編集『精神保健福祉白書 2006 年版』、中央法規出版、2006年1月、101～102 ページ
- 3、共著「精神科リハビリテーション学」日本精神保健福祉士協会『精神保健福祉士受験ワークブック専門科目編 2007』中央法規出版、2006年7月、114～161 ページ
- 4、共著「身体的な問題を抱える事例の相談」全国精神保健福祉相談員会『精神保健福祉相談ハンドブック』中央法規出版、2006年8月、160～165 ページ、及び、『精神保健福祉相談ハンドブック』編集委員
- 5、共著「単身アパート」精神障害者社会復帰促進センター・財団法人全国精神障害者家族会連合会・精神保健福祉白書編集委員会編集『精神保健福祉白書 2007 年版』、中央法規出版、2007年1月、101～102 ページ
- 6、共著「心理教育」日本精神保健福祉士養成校協会編『精神保健福祉援助技術各論』、中央法規出版、2007年1月
- 7、共著「精神科リハビリテーション学」日本精神保健福祉士協会『精神保健福祉士受験ワークブック専門科目編 2008』中央法規出版、2007年7月、114～161 ページ
- 8、共著「精神科リハビリテーション学」日本精神保健福祉士協会『精神保健福祉士受験ワークブック専門科目編 2009』中央法規出版、2008年7月、114～161 ページ

〈論文〉

- 9、共著「社会福祉学導入教育の取り組み」、山梨県立大学人間福祉学部研究紀要、2005年

〈研究ノート〉

- 10、単著「第18回 ASK アメリカ研修会報告」、山梨県立大学人間福祉学部研究紀要、2007年12月
 - 11、共著「アルコール依存症未治療期間に関する研究～体験談から探る早期治療・早期治療への課題～」、山梨県立大学人間福祉学部研究紀要、2008年12月
- 〈報告書〉
- 12、共著「少子高齢化時代の地域ネットワーク多参画社会の構築と人材養成」、山梨県立大学地域研究交流センター共同研究事業、2005年
 - 13、共著「少子高齢化時代の地域ネットワーク多参画社会の構築と人材養成」、山梨県立大学地域研究交流センター、2006年
 - 14、共著「障害者自立支援法時代の基礎自治体における地域生活支援の人材開発～山梨モデル構築への研究～」、山梨県立大学地域研究交流センター共同研究事業、2007年

2. 主な社会活動

①主な所属学会・研究団体、行政機関・関係団体等審議会等活動

- ・日本精神保健福祉士協会、1972年～
- ・全国精神保健福祉相談員会、1982年～
- ・日本精神保健福祉士協会神奈川県支部、1985年～2007年
- ・日本社会福祉学会、2003年～
- ・日本病院・地域精神医学会、2003年～
- ・白山社会学会、2003年～
- ・市川三郷町障害者施策推進協議会、2008年～

②主な研修会・講演会等の活動（地域貢献活動を含む）

- ・認知症介護実践リーダー研修会講演「介護現場の環境を整える方策」、『山梨県長寿社会課』、2005年
- ・子育て支援コーディネーター養成講座「親理解と相談支援」、『山梨県教育委員会・山梨県立大学』、2005年
- ・甲府市食生活改善推進員研修会講演「精神保健（心の健康）」、『甲府市福祉部健康衛生

課保健センター』、2005年10月18日

- ・認知症介護実践リーダー研修会講演「介護現場の環境を整える方策」、『山梨県長寿社会課』、2006年
- ・子育て支援コーディネーター養成講座「親理解と相談支援」、『山梨県教育委員会・山梨県立大学』、2006年
- ・山梨県福祉サービス評価推進機構評価調査者研修会「障害部門担当者事前研修・現場実習指導・事後研修・フォローアップ研修」、『山梨県社会福祉協議会』、2006年
- ・認知症介護実践リーダー研修会講演「介護現場の環境を整える方策」、『山梨県長寿社会課』、2007年
- ・研修会企画「精神障害者をもつ家族への支援」、『日本家族研究・家族療法学会地域ワークショップ』、2006年9月23日、山梨英和大学
- ・平成18年度ホームヘルパー研修会講演「精神保健福祉担当ホームヘルパー資格講座」、『東京都八王子市 NPO 法人 日本ウエルネット心の相談ふれあいネット』、2006年
- ・山梨県福祉サービス評価推進機構評価調査者研修会「障害部門担当者事前研修・現場実習指導・事後研修・フォローアップ研修」、『山梨県社会福祉協議会』、2007年
- ・平成19年度ホームヘルパー研修会講演「精神保健福祉担当ホームヘルパー資格講座」、『東京都八王子市 NPO 法人 日本ウエルネット心の相談ふれあいネット』、2007年
- ・高校連携授業「わが国の精神障害者福祉」、『甲府城西高校』、2007年7月10日
- ・高校連携授業「わが国の精神障害者福祉」、『甲府城西高校』、2009年8月24日

寺久保光良

1. 主な研究活動

〈著書〉

単著『貧困と闘う人びと』、あけび書房、2004年9月

概要：生活保護行政をめぐる諸問題について、事例調査を行い、利用者の立場から見る保護行政のあり方について問題提起をした。

共著『死にたくない・いま生活保護が生きるとき』、青木書店、2006年10月、第1章(pp.9-69)執筆

概要：北九州市の保護行政・審査請求事例・保護申請「拒否事例」についての調査研究

共著『「現代の貧困」とナショナルミニマム』（金澤誠一編著）、高学出版、2009年4月、第6章1節（「福祉事務所の役割と実際」）執筆

〈報告書〉

単著「高齢犯罪者増加に対する対応の現状と課題について」（山梨県更生保護懇話会『高齢者犯罪問題研究会』報告書）、2008年1月
概要：警察、検察、保護観察、福祉、労働、など関係者により、それぞれの状況報告を行い、問題点や課題を探り、高齢犯罪防止の観点から研究し報告書を出した。

2. 主な社会活動

①主な所属学会・研究団体、行政機関・関係団体等審議会等活動

山梨県更生保護懇話会委員

(2006年11月～2009年3月)

高齢者犯罪問題研究会座長

(2006年12月～2009年1月)

甲府保護司選考会委員

(2009年2月～現在に至る)

山梨県明るい選挙推進協議会委員

(2006年10月～現在に至る)

②主な研修会・講演会等の活動（地域貢献活動を含む）

さわやか福祉財団『地域助け合い研修会イン甲府パネルディスカッション』コーディネーター、

2007年11月17日

概要：高齢者福祉に関わる行政、地域包括支援センター、司法書士、NPO法人などによるパネルディスカッションをコーディネートし論点整理など円滑な運営を計った。

全国医学生ゼミナール『パネルディスカッション』パネラー、2007年8月12日

概要：隣接領域である医療関係者とともに、医療と福祉における問題点や課題を整理し、学生として視野を広げることにについて提起した。

学内サークル「和太鼓部」、「陶芸部」を学生とともに創設。「和太鼓部」は地域や施設などで演奏活動を行っている。

西澤 哲

1. 主な研究活動

〈著書〉

1. 共編著「子ども虐待対応の手引き」日本子ども家庭総合研究所編、有斐閣、2009年8月。

2. 西澤哲・山本知加著「日本版 TSCC（子ども用トラウマチェックリスト）の手引き：その基礎と臨床」金剛出版、2009年。

〈論文〉

1. 単著「家族の再統合：子ども虐待への対応における福祉と心理の協働」鉄道弘済会『社会福祉研究』第98号、2007年4月、pp.19-25.

2. 単著「トラウマが子どもに与える影響：虐待と心の傷」教育と医学の会『教育と医学』第56巻第5号、2008年5月、pp.4-14.

3. 単著「子ども虐待における性的虐待の動向」至文堂『現代のエスプリ』第496号、2008年11月、pp.186-198.

4. 単著「施設養育におけるアタッチメントの形成」日本子ども虐待防止学会『子どもの虐待とネグレクト』第10巻第3号、2008年11月、pp.297-306.

5. 単著「愛着障害と子ども虐待」へるす出版『小児看護』第32巻5号、2009年5月、pp.532-537.

6. 単著「親から愛されなかった子：ネグレクト

が子どもに与える影響」金子書房『児童心理』第 898 号、2009 年 7 月、pp.75-80.

7. 単著「社会的養護における不適切な養育：いわゆる「施設内虐待」の全体像の把握の試み」日本子ども虐待防止学会『子どもの虐待とネグレクト』第 11 巻第 2 号、2009 年 7 月、pp.145-153.
8. 単著「子ども虐待：トラウマと愛着を中心に」『小児内科』『小児外科』編集委員会共編『小児科診療のための病態整理』『小児内科』第 41 号増刊号、2009 年 8 月、pp.854-857.

2. 主な社会活動

①主な所属学会・研究団体、行政機関・関係団体等審議会等活動

〈所属学会〉

日本心理学会

心理臨床学会

児童青年精神医学会

社会福祉学会

小児精神神経学会

日本トラウマティックストレス学会

International Society for Prevention of Child Abuse and Neglect

International Society of Traumatic Stress Studies

American Professional Society on Abuse of Children

日本子ども虐待防止学会、総務担当理事、学術雑誌編集委員長

〈その他の社会活動〉

厚生労働省社会保障審議会社会的養護専門委員会委員

東京都児童福祉審議会委員

渋谷区要保護児童対策地域協議会スーパーバイザー

社会福祉法人子どもの虐待防止センター理事
NPO 法人児童虐待防止協会理事

畑 本 祐 介

1. 主な研究活動

〈著書・論文〉

単著『再帰性と社会福祉・社会保障』生活書院、2008 年 5 月

単著「第 3 章 福祉制度の発達過程 III 現代社会と福祉」岩崎晋也・坪洋一編『社会福祉原論 現代社会と福祉』へるす出版、2009 年 2 月、67~78 ページ

単著「再帰性とグローバリゼーションの理論的検討—アンソニー・ギデンズの哲学的保守主義を中心に—」『明星大学社会学研究紀要』第 27 号、2007 年 4 月、13~26 ページ

単著「福祉国家とコミュニティ概念——コミュニティの立場から」『社会政策研究』6 (東信堂)、2006 年 4 月、184~204 ページ

単著「総体としての貧困—戦後わが国の貧困認識の特徴について」『明星大学社会学研究紀要』第 26 号、2006 年 3 月、163~175 ページ

〈翻訳〉

共訳、ポール・スピッカー『貧困の概念』生活書院 (第 1 章、第 2 章、第 3 章、第 7 章 (7 章は共訳) 部分の翻訳) (=Spicker, P、2007、The Idea of Poverty、The Polity Press)、2008 年 10 月

〈学会・研究会報告〉

研究会報告「福士正博『完全従事社会の可能性 仕事と福祉の新構想』(日本経済評論社、2009 年)をめぐって：福士正博著『完全従事社会の可能性 仕事と福祉の新構想』書評」ベーシックインカム日本ネットワーク準備委員会 (BIJN) 第 8 回研究会、お茶の水女子大学にて、2009 年 8 月 2 日

研究会報告「80 年代の余裕と 90・00 年代の困窮：藤村正之著『〈生〉の社会学』書評」社会政策研究ネットワーク (SPSN) 第 78 回研究会、明治大学にて、2009 年 5 月 16 日
研究会報告「『再帰性と社会福祉・社会保障』を出版して」社会政策研究ネットワーク (SPSN) 第 77 回研究会、明治大学にて、2009 年 3 月 28 日

研究会報告「総体としての貧困」、社会政策研究ネットワーク（SPSN）第52回研究会、
東京大学にて、2005年1月30日

〈その他〉

問題解説、社会福祉カレッジ編、2009、『第21回社会福祉士国試対策'10 共通科目編』（第21回社会福祉士国家試験「社会福祉原論」部分の解説、合計10問）、2009年6月
問題解説、社会福祉カレッジ編、2008、『第21回社会福祉士国試対策'09 共通科目編』（第20回社会福祉士国家試験「社会福祉原論」部分の解説、合計10問）、2008年5月
問題解説、社会福祉カレッジ編、2007、『第20回社会福祉士国試対策'08 共通科目編』（第19回社会福祉士国家試験「社会福祉原論」部分の解説、合計10問）、2007年5月
問題解説、社会福祉カレッジ編、2006、『第19回社会福祉士国試対策'07 共通科目編』（第18回社会福祉士国家試験「社会福祉原論」部分の解説、合計10問）、2006年5月
辞典項目執筆、『イラストでみる介護福祉用語辞典』（第3版）医学評論社、2006年2月
（共著者：塩野敬祐、清水英佑、蘭田碩哉、中里克治、長谷川友紀・畑本裕介他）

2. 主な社会活動

①主な所属学会・研究団体、行政機関・関係団体等審議会等活動

日本社会学会 会員 1997年4月～
関東社会学会 会員 1997年4月～
日本社会福祉学会 会員 2003年7月～
社会政策学会 会員 2007年7月～

藤 谷 秀

1. 主な研究活動

〈著書〉

共著『介護福祉のための倫理学』、弘文堂、
2007年10月、第1章～9章（pp.53-187）
執筆

〈学会発表〉

単独「『男女関係』とはどんな関係なのか－ジェンダー概念の再考によせて」、唯物論研究協会第29回研究大会、2006年10月

〈その他〉

共同編集書『共生と共同、連帯の未来－21世紀に託された思想（哲学から未来をひらく）』、青木書店、2009年8月

2. 主な社会活動

①主な所属学会・研究団体、行政機関・関係団体等審議会等活動

〈所属学会〉

日本倫理学会、日本哲学会、実存思想協会、唯物論研究協会（運営委員、2005年10月～現在に至る）、総合人間学会（以上国内）
Martin Heidegger Gesellschaft（国外）

〈審議会等〉

甲府市「男女共同参画審議会」委員（2003年9月～2009年8月）
山梨県「男女共同参画審議会」委員（2006年9月～現在に至る）
山梨労働局「山梨地方労働審議会」委員（2006年11月～現在に至る）

②主な研修会・講演会等の活動（地域貢献活動を含む）

ことぶき勸学院「東山梨学園講座」講師（『高齢化時代の生き方を考える』）、山梨市市民会館、2005年5月
甲府東高校「ミニ大学」講師（『生と幸福』）、甲府東高校、2006年11月
山梨県生涯学習推進センター「やまなし生涯学習フォーラム」コーディネーター（『人になる－いのち支えるもの』）、県立文学館、2008年2月

柳田 正明

1. 主な研究活動

〈著書〉

- 1 単著「知的障害児を対象としたレクリエーション事例」『レクリエーション援助』（千葉和夫編集）メヂカルフレンド社 2006年5月 P.218－226
- 2 共著『地域保健福祉政策実践事例集』（村川浩一他監修）第一法 2006年10月
- 3 編著『障害者福祉論』（坂本洋一、植村英晴、柳田正明）第一法規出版 2006年10月
- 4 単著「地域生活移行後を想定した社会生活力向上のための支援の実践－知的障害者入所施設Aの取り組みから－」『社会生活力支援』4 地域生活移行への取り組み、奥野英子編 中央法規出版 2007年3月
- 5 共著『高齢者保健福祉実務辞典（追録39号）』（高齢者保健福祉実務研究会監修）第一法規 2008年10月
- 6 単著「長期に入所施設で生活してきた知的障害者の地域移行支援と地域生活支援」『ソーシャルワーク実践事例集』平成21年3月、明石書店 2009年3月、P.131－136
- 7 編著『障害者福祉・支援論』（坂本洋一、植村英晴、朝日雅也、柳田正明）第一法規出版 2009年4月
- 8 共著『高齢者介護用語・手続事典』追録29、30号 新日本法規 2009年9月（2004年以降継続）
- 9 共著『Q & A 障害者福祉・支援の手引』追録13、14号 新日本法規 2009年10月（2004年刊行以来継続）
- 10 共著『リハビリテーション事典』（伊藤利之、京極高宣、坂本洋一、中村隆一、松井亮輔、三澤義一編集幹事）中央法規出版 2009年10月
- 11 共著『わがまちの障害福祉計画 44の自治体首長に聞く』『わがまちの障害福祉計画－狛江市長に聞く』P.144－147、「わがまちの障害福祉計画－日光市長に聞く」P.156－159 日本障害者協議会、(株)ゼンコロ 2009年3月

〈論文〉

- 1 共著「イギリスにおける介護施策と障害者福祉施策の関係」『海外社会保障研究』（植村英晴教授と共同執筆）国立社会保障・人口問題研究所 2006年3月 P.37－45
- 2 単著「「社会福祉援助技術現場実習指導」における実習期間中の訪問指導の必要性について－障害福祉分野で実習を行った学生の自己評価から－」日本社会事業大学研究紀要第53集 2006年12月

〈報告書〉

- 1 共著「イギリスの介護施策と障害施策」『諸外国における介護制度及び障害者施策の比較調査研究事業』（平成16年度老人保健健康増進等事業による研究報告書、植村英晴教授と共同執筆）2005年3月 P.17－27
- 2 共著『重度・重複の知的障害者の地域移行を困難にする二次的障害の日常生活支援のあり方に関する研究』平成18年度厚生労働科学研究障害保健福祉推進研究事業報告、2007年3月
- 3 共著『実習施設との共同による新カリキュラムに対応した相談援助実習プログラムの開発報告書』（代表柳田正明）平成20年度日本社会事業大学共同研究報告書 2009年3月

〈学会発表〉

- 1 日本社会福祉学会第54回全国大会自主企画シンポジウム「知的障害のある人の地域移行支援の現状と課題」シンポジスト 2006年10月
- 2 日本社会事業大学社会福祉学会第46回社会福祉研究大会大会テーマシンポジウム「社会福祉ニーズの変容と社会福祉教育の課題」シンポジスト（『社会事業研究』2008.1 No.47 P.19－38に掲載）2007年6月
- 3 日本社会福祉学会第55回全国大会自主企画シンポジウム「知的障害のある人の地域移行支援の現状と課題(2)」コーディネータ 2007年9月

〈その他〉

- 1 単著「スキルアップ Q&A 「リストラされたKさん。再就職が見つかりません・・・」」知的障害福祉研究 support 4月号 2009年4月 P.44－45

2. 主な社会活動

①主な所属学会・研究団体、行政機関・関係団体等審議会等活動

日本社会福祉学会、日本介護福祉学会、日本行動分析学会、日本発達障害学会、
日本リハビリテーション連携科学学会所属
日本リハビリテーション連会科学学会社会リハビリテーション研究会幹事 2007年4月～
独立行政法人国立重度障害者総合施設のぞみの園研究会議委員

②主な研修会・講演会等の活動（地域貢献活動を含む）

新宿区介護認定審査会座長 2000年～
港区障害者施策推進協議会会長
2005年～2007年
独立行政法人国立重度障害者総合施設のぞみの園顧問研究員 2006年度
独立行政法人国立重度障害者総合施設のぞみの園参事（調査研究担当）2007年4月～
墨田区障害程度区分認定審査会委員 2007年～
日本知的障害者福祉協会人事育成・研修委員会委員 2007年4月～
川崎市リハビリテーション医療・福祉センター再編整備検討委員会（障害者施策推進協議会専門部会）委員 2007年度
江戸川区立希望の家（知的障害者通所更生・授産施設）職場研修会講師 2007年11月
清瀬市保健福祉総合計画策定委員兼障害者専門部会座長 2007、2008年度
日本社会事業大学パワーアップ研修講座講師 2008年1月
川崎市障害者施策推進協議会心身障害者福祉手当あり方検討専門部会委員 2008年度
山梨県福祉サービス評価推進機構証認・公表専門委員会委員 2009年4月～
東京都特別委支援学校南多摩地区PTA連絡協議会研修会講師 2009年9月

横山貴美子

1. 主な研究活動

〈著書〉

1. 共著「介護福祉のための教養学〈医学〉」、弘文堂、2007年3月、pp.13-52 執筆
 2. 共著「介護福祉のための教養学〈社会学〉」、弘文堂、2007年3月、pp.13-52 執筆
 3. 共著「介護福祉のための教養学〈心理学〉」、弘文堂、2007年4月、pp.13-52 執筆
 4. 共著「介護福祉のための教養学〈倫理学〉」、弘文堂、2007年10月、pp.8-47、188-202 執筆
 5. 共著「介護福祉のための教養学〈法学〉」、弘文堂、2008年3月、pp.16-47 執筆
 6. 共著「介護福祉のための教養学〈経済学〉」、弘文堂、2008年10月、pp.18-49 執筆
- 〈論文〉

1. 単著「話し相手ボランティアの活動支援としての『養成講座』に関する一考察 ～ハンナ・アレントの『活動』理論を視座として～」、2006年3月、『山梨県立大学人間福祉学部紀要』
 2. 単著「話し相手ボランティアの活動支援としての『定例会』の機能と役割 ～『活動への勇気』の後押しという視点～」、2007年3月、『山梨県立大学人間福祉学部紀要』
 3. 共著「介護福祉士養成校における倫理教育の実態調査」日本介護福祉教育学会学会誌『介護福祉教育』NO.24、2007年7月
- 〈報告書〉
1. 共著「福祉養成校の教育体系におけるソーシャルワークとケアワーク融合教育モデル構築のための基礎的研究」日本社会事業大学社会事業研究所共同研究報告書、2006年3月
 2. 共著「少子高齢化時代の地域ネットワーク：多参画社会の構築と人材養成」山梨県立大学地域研究交流センター研究報告書、2006年3月
 3. 共著「少子高齢化時代の地域ネットワーク：多参画社会の構築と人材養成Ⅱ」山梨県立大学地域研究交流センター研究報告書、2007年3月

4. 共著「少子高齢化時代の地域ネットワーク：多参画社会の構築と人材養成Ⅳ」山梨県立大学地域研究交流センター研究報告書、2009年3月

〈学会発表〉

1. 単著「話し相手ボランティアの活動支援－一定例会のあり方－」日本福祉教育・ボランティア学習学会、2005年11月
2. 共著「介護福祉士養成校における倫理教育の実態調査」日本介護福祉教育学会、2007年11月
3. 共著「倫理教育の実態調査－自由記述回答の内容分析から考えられる課題－」日本介護福祉教育学会、2008年11月
4. 共著「Y県A町の高齢者支援組織を対象に実施した認知症ケア啓発のための研修会の評価－高齢者施設での認知症高齢者との『ふれあい体験』を組み入れて」日本老年看護学会第14回学術集会、2009年9月

2. 主な社会活動

- ①主な所属学会・研究団体、行政機関・関係団体等審議会等活動

日本社会福祉学会 日本介護福祉学会 日本福祉教育・ボランティア学習学会
日本老年社会科学会 応用哲学会

- ②主な研修会・講演会等の活動（地域貢献活動を含む）

2005年6月 山梨県主催認知症介護実践リーダー研修会講師
2005年9月 介護老人福祉施設尚古園第三者評価委(現在に至る)
2005年9月 山梨県老人福祉施設協議会主催特別養護部会研修会講師
2005年10月 かわさき市民アカデミー社会福祉講師（前期「介護福祉と当事者性」）
2006年3月 後期「介護福祉における高齢者と家族と専門職」(4回)担当
2006年6月 かわさき市民アカデミー社会福祉担当
2006年6月 山梨県主催認知症介護実践リー

ダー研修会講師

2006年8月 所沢市地域包括支援センター主催話し相手ボランティア養成講座(全7回)講師

2006年8月 介護老人福祉施設主催介護事例研修会(全3回)講師

2006年9月 山梨県ことぶき勸学院主催「介護福祉を取り巻く現状」講演

2006年10月 志木市社会福祉協議会主催話し相手ボランティア養成講座(全7回)講師

2007年7月 藤枝市社会福祉協議会主催話し相手ボランティア養成講座(全6回)講師

2007年7月 所沢市地域包括支援センター主催話し相手ボランティア養成講座(全7回)講師

2007年8月 山梨県ホームヘルパー協会主催出前講座(全3回)講師

2007年10月 志木市社会福祉協議会主催話し相手ボランティア養成講座(全7回)講師

2008年8月 介護福祉教員養成研修「介護実習」(講義・演習15時間)講師

2008年8月 所沢市話し相手ボランティアの会主催話し相手ボランティア養成講座(全3回)講師

2009年2月 山梨県主催介護職員指導者研修講師

2009年7月 所沢市話し相手ボランティアの会主催話し相手ボランティア養成講座(全3回)講師

2009年7月 藤枝市社会福祉協議会主催話し相手ボランティア養成講座(全6回)講師

吉田 雅彦

1. 主な研究活動

〈論文〉

1. 共著 河口湖および四尾連湖に生息するユスリカ幼虫の体内脂肪組成陸水学雑誌 66、181-190 (2005)
2. 共著 Long-term dynamics of benthic macroinvertebrates from a small shallow lake in central Japan, Verh. Internat. Verein. Limnol Vol.29. pp1741-1746 (2006)
3. 共著 Long-term change of DOM contents of shallow lake water in central Japan, Verh. Internat. Verein. Limnol Vol.29. pp 2293-2296 (2006)
4. 共著 Long-term dynamics of freshwater red tide in a shallow lake in Central Japan, Environmental Health and Preventive Medicine 12、(1). 33-39 (2007)

〈報告・研究レポート〉

1. 共著 河口湖における陸水学的研究
ー2003年度の理化学調査の結果からー、山梨県立女子短期大学紀要 38、85-88 (2005)
2. 共著 四尾連湖における陸水学的研究
ー2004年度の理化学調査の結果からー、山梨県立大学人間福祉学部紀要1、101-104 (2006)
3. 共著 四尾連湖における陸水学的研究
ー2005年度の理化学調査の結果からー、山梨県立大学人間福祉学部紀要 2、89-92 (2007)
4. 共著 四尾連湖における陸水学的研究
ー2006年度の理化学調査の結果からー、山梨県立大学人間福祉学部紀要 3、57-60 (2008)
5. 共著 四尾連湖における陸水学的研究
ー2007年度の理化学調査の結果からー、山梨県立大学人間福祉学部紀要 4、47-50 (2009)

2. 主な社会活動

①主な所属学会・研究団体、行政機関・関係団体等審議会等活動

日本陸水学会 会計幹事 (2006. 4-2009. 3)
日本陸水学会甲信越支部幹事 (1999. 4-)
山梨県食品技術研究会副会長 (2003. 4-)

甲府家庭裁判所参与員 (2004. 10-)

山梨地方社会保険医療協議会委員 (2006. 2-2008. 9)

甲府市廃棄物減量等推進審議会委員 (2006. 10. 20-2008. 10. 19)

省エネ家電普及員 (2007. 11. 16-2008. 2. 28)
コンソーシアムやまなし 学生交流部会長
(2009. 4-)

山梨県立大学生生活協同組合専務理事・代表理事
(2009. 7-)

②主な研修会・講演会等の活動 (地域貢献活動を含む)

平成 17 年度山梨ことぶき勸学院北巨摩学園講師、「食生活についてー食の安全を考えるー」、2005. 5. 25

平成 17 年度山梨ことぶき勸学院東山梨学園講師、「食生活についてー食の安全を考えるー」、2005. 6. 8

平成 18 年度山梨ことぶき勸学院東山梨学園講師、「食の安全を考えるーなぜアメリカ産牛肉は輸入が停止しているかー」(領域「高齢者社会を生きる」ー食の安全・安心についてー)、2006. 5. 19

平成 18 年度山梨ことぶき勸学院北巨摩学園講師、「食の安全を考えるーなぜアメリカ産牛肉は輸入が停止しているかー」(領域「高齢者社会を生きる」ー食の安全・安心についてー)、2006. 5. 26

平成 19 年度山梨ことぶき勸学院東山梨学園講師、「高齢社会を生きる (食の安心・安全) : 食の安全を考えるー食品表示に見えるものー」、2007. 5. 30

平成 19 年度山梨ことぶき勸学院北都留学園講師、「高齢社会を生きる (食の安心・安全) : 食の安全を考えるー食品表示に見えるものー」2007. 7. 4

人間形成学科

池田 政子

1. 主な研究活動

〈論文・報告〉

1. 共著「夫婦関係満足度にみるジェンダー差の分析 ―関係は、なぜ維持されるか―」家族心理学研究、19(2)、116-127. (2005、11)
2. 共著「ジェンダーに向き合う保育専門職の養成」(日本保育学会課題研究) 保育学研究、43(2)、131-141. (2005、12)
3. 共著「夫婦のコミュニケーションと関係満足度、心理的健康の関連：子育て期のペア・データの分析」家族問題相談研究(聖徳大学家族問題相談センター紀要)、4、51-61. (2006、2)
4. 共著 Gender-role attitude and psychological well-being of middle-aged men: Focusing on employment patterns of their wives. Japanese Psychological Research、48(1)、17-26. (2006、3)
5. 共著「職業生活が中年期夫婦の関係満足度と主観的幸福感に及ぼす影響：妻の就業形態別にみたクロスオーバーの検討」発達心理学研究、17(1)、62-72. (2006、4)
6. 共著「多重役割に従事する子育て期夫婦の関係満足度と心理的健康：妻の就業形態による比較」聖徳大学研究紀要人文学部、第17号、33-40 (2006、12)
7. 単著「0歳からのジェンダー教育に向けて：保育の場を変える学習・実践」男女共生社会を目指す心理教育(伊藤裕子編)、現代のエスプリ 485号、171-188 (2007、11)
8. 共著「夫婦のコミュニケーションが関係満足度に及ぼす影響：自己開示を中心に」文京学院大学人間学部研究紀要、9(1)、1-15. (2007、12)
9. 単著「『山梨女性史ノート大正編』にみる「製糸工女」『山梨県立大学地域研究交流センター 2007年度研究報告書 やまなし地域女性史研究プロジェクト』81-136 (2008、3)
10. 共著「夫婦の結婚満足度と家事・育児分担

における理想と現実のずれ」家族心理学研究 Vol.22、No.2、119-128、(2008、11)

11. 単著「『山梨女性史ノート昭和前期編』にみる「製糸工女」『山梨県立大学地域研究交流センター 2008年度研究報告書 やまなし地域女性史研究プロジェクト』79-120. (2009、3) (他略)

〈学会シンポジウム〉

1. 報告者「フィールド研究とジェンダー」日本心理学会ジェンダー研究会主催「フェミニスト心理学が目指すもの：今後の方向」日本心理学会第70回大会(2006、11、3)
2. 報告者「ジェンダーに敏感な教員養成：幼稚園教諭・保育士養成の立場から」日本教師教育学会「課題研究Ⅰ 教師教育におけるジェンダー視点の必要性」(2008、9、14) 日本教師教育学会年報第18号、162-164 (2009、10)

2. 主な社会活動

- ①主な所属学会・研究団体、行政機関・関係団体等審議会等活動

〈所属学会〉

日本心理学会(ジェンダー研究会所属)、日本教育心理学会、日本社会心理学会、日本発達心理学会、日本家族心理学会、日本保育学会、日本女性学会、日本教師教育学会

〈審議会等〉

「特色ある大学教育支援プログラム」審査部会委員 2003-2005年度、2007年度

「特色ある大学教育支援プログラム」審査部会委員(書面審査委員) 2006年度

質の高い大学教育等推進事業委員会専門委員(書面審査委員) 2008-2009年度

大学コンソーシアムやまなし企画運営委員会委員 2006年-2008年度

山梨県立男女共同参画推進センター運営協議会委員 2000年4月-2007年3月

やまなし子育て支援プラン推進協議会委員 2005年7月-

山梨県私立学校審議会委員 2005年12月-
山梨県家庭教育推進協議会委員(会長)

2007～2008 年度

山梨県総合計画審議会委員 2008 年 10 月～
山梨県留置施設視察委員会委員 2009 年 6 月～
山梨県社会福祉審議会委員 2009 年 8 月～
「子育て日記」制作委員（山梨放送）

2009 年 5 月～

その他

②主な研修会・講演会等の活動（地域貢献活動を含む）

〈研修会・講演会 企画・講師等〉

「男女共同参画アドバイザー養成講座」（本学・
県教育委員会：企画・運営・講師）1998 年
～2005 年

「子育て支援コーディネーター養成講座」（本学・
県教育委員会：企画・運営・講師）2005 年～

「甲府市子育て支援講座」（本学・甲府市幼児教
育センター：企画・講師）2005 年～

「幼稚園等新規採用教員研修会」（県私学文書課：
講師）2005 年～2007 年

「ことぶき勸学院『男女共同参画社会のあり方』」
（県中北教育事務所：講師）2005 年～

「埼玉県人権保育研修会・実践交流会」（埼玉県
人権保育研究会：講師）2005 年～

「男女共同参画講座」（本学・自治体共催：企画・
講師）忍野村 2006 年 9 月～12 月/南アルプ
ス市 2007 年 8 月～9 月、2009 年 8 月～
9 月

講演「男女共同参画時代の保育・子育て支援：
ひとりひとりを大切にするために」男女共同
参画セミナー：佐賀県立女性センター
2005/8/4

パネリスト「山梨県立大学からの報告」やまな
し産業情報交流ネットワーク：シンポジウム
「大学における地域連携の可能性」山梨学院
大学 2006/2/18

講演「ひとりひとりを大切にする子育て・保育：
ジェンダーの視点から考える」NPO 法人ド
ロップインセンター「ジェンダーの視点を踏
まえた就学前教育推進事業」宮崎市情報研修
センター 2006/11/20

講演「共同参画のまちづくりを進めるために」

長野県男女共同参画センター「共同参画のま
ちづくりフォーラム」2007/2/17

講演「“男女共同参画”ってどういうこと!?” 山
梨県男女共同参画推進センター「男女共同参
画基礎講座」ぴゅあ総合 2008/4/25

講演「心をつなぐ：地域の子育てに私たちがで
きること」昭和町福祉課「ファミリーサポ
ートしょうわ・フォローアップ研修」昭和町総
合会館 2008/8/27

講演「明治・大正期 山梨の「製糸工女」たち」
本学地域研究交流センター・山梨県立男女共
同参画センター「やまなし地域女性史研究プ
ロジェクト」公開講座/ぴゅあ総合エンパワ
メントセミナー『やまなしの女性史を学ぶ』
山梨県立大学 2008/10/22

講演「ひとりひとりを大切にする保育：ジェン
ダーの視点から」静岡市男女共同参画課「保
育士・幼稚園教諭研修」静岡市女性会館
2009/2/13

（他略）

〈地域貢献活動所属団体〉

やまなし女と男ネットワーク 顧問 2002 年～

池田 充 裕

1. 主な研究活動

〈著書〉

単著「シンガポールの教員養成」学校教育研究
所編『世界の教員養成 I アジア編』2005
年 9 月、学校教育研究所、140-164 頁

単著「シンガポールグローバル化への対応」
「日本－幼児教育の歴史と少
子化への対応」池田充裕・山田千明編著『ア
ジアの就学前教育－幼児教育・保育の制度・
カリキュラム・実践』明石書店、2006 年 3
月、159-181 頁、231-247 頁

単著「高学力・実力主義の学校－シンガポール」
二宮皓編著『世界の学校－教育制度から日常
の学校風景まで』学事出版、2006 年 4 月、
136-145 頁

単著「シンガポールの教育改革と学力モデル」
原田信之編著『確かな学力と豊かな学力－各

国教育政策の実態と学力モデル』ミネルヴァ
書房、2007年3月、181-213頁

単著「シンガポールー“官製シティズンシップ”
の背景と実態」嶺井明子編著『世界のシティ
ズンシップ教育ーグローバル時代の国民/市
民形成』東信堂、2007年6月、68-81頁

〈論文〉

単著「シンガポールにおける教育改革の動向」
日本教育制度学会『教育制度学研究』第13
号、2006年11月、222-229頁

単著「シンガポールにおける幼児教育・保育の
成立過程とその現状ー早期二言語教育の歴史
と実践に着目してー」幼児教育史学会『幼児
教育史研究』第4号、2009年11月、47-
60頁

〈科学研究費等報告書〉

単著「シンガポールにおける環境教育の動向と
教育実践ー国民教育と実利主義の再構築に向
けて」2004・2005年度科学研究費補助金・
基盤研究(C)(1)(課題番号16530550)研
究代表者：手嶋将博「東南アジアにおける環
境教育の実態に関する実証的比較研究ー民族
的・文化的環境観とグローバル市民意識の育
成に着目して」研究成果報告書、2006年3
月、65-107頁

単著「シンガポールの教員給与制度」国立教育
政策研究所「諸外国の教員給与に関する調査
研究」報告書、2007年3月、84-97頁

単著「シンガポールの初等英語教育の現状と課
題ー初等バイリンガル教育の現状と課題」
2006・2007年度科学研究費補助金・基盤研
究(C)(課題番号18530659)研究代表者：
池田充裕「東南アジアの初等教育段階におけ
る英語教育の受容と母語教育への影響」研究
成果報告書、2008年3月、91-138頁

単著「シンガポールの南南教育支援の現状ーA
SEAN統合イニシアチブ(IAI)研修センター
での訪問調査から」2007~2009年度科学研
究費補助金・基盤研究(A)(課題番号
19252007)研究代表者：佐藤真理子「南南
教育協力の必要性和可能性ー環インド洋地域

協力に留意してー」中間報告書、2009年3
月、1-19頁

〈学会発表〉

共同発表「国際学力調査結果の受容と教育改革
の方向ーシンガポールの事例」日本比較教育
学会第41回大会、会場：日本大学、2005
年6月25日

共同発表「価値多元化社会におけるシチズンシ
ップ教育ーシンガポールの道徳・特別活動の概
要とカリキュラムの特色」日本比較教育学会
第41回大会、会場：日本大学、2005年6
月25日

共同発表「東南アジアの環境教育における文化
的環境観とグローバル意識の育成(2)ーシン
ガポール・フィリピンの事例と研究の総括ー」
日本比較教育学会第42回大会、会場：広島
大学、2006年6月25日

共同発表「東南アジアの初等教育段階における
英語教育の受容と母語教育への影響(1)ータ
イ・マレーシア・シンガポールの事例からー」
日本比較教育学会第43回大会、会場：筑波
大学、2007年6月30日

共同発表「東南アジアの初等教育段階における
英語教育の受容と母語教育への影響(2)ータ
イ・マレーシア・シンガポール・フィリピ
ンの事例からー」日本比較教育学会第44回大
会、会場：東北大学、2008年6月29日

個人発表「東南アジアにおける幼児教育・保育
の現状と課題」幼児教育史学会第4回大会、
会場：山梨県立大学、2008年12月6日

共同発表「東南アジアにおける新興ドナー国の
南南教育協力」日本比較教育学会第45回大
会、会場：東京学芸大学、2009年6月
28日

2. 主な社会活動

①主な所属学会・研究団体、行政機関・関係団体
等審議会等活動

〈主な所属学会〉

日本比較教育学会、日本教育学会、異文化間教
育学会、日本教育行政学会、日本教育制度学会、

日本教育政策学会、日本保育学会、日本シンガポール協会

〈主な行政・関係団体等活動〉

国立教育政策研究所「諸外国の教員給与に関する調査研究」研究協力者、2006年7月～2007年3月

甲斐市教育委員会「学校評価事業運営委員会」委員、2007年7月～2008年3月

国立教育政策研究所「諸外国の初等中等教育における飛び級等に関する調査」委員、2009年2月

日本学術振興会「大学教育等推進事業委員会大学部会」書面審査委員、2009年5月～12月

国立教育政策研究所「児童生徒の学習評価等の国際比較に関する調査研究」委員、2009年6月

国立教育政策研究所「教育課程の編成に関する基礎的研究」委員、2009年6月～2010年3月

②主な研修会・講演会等の活動（地域貢献活動を含む）

山梨県立大学・県民コミュニケーション「保育園は多文化社会－異なる文化を持つ子どもたち（国際児）の保育をめぐって」講師、2008年10月25日

山形県庄内地区教育委員会協議会研修会「日本の学力低下問題を考える－理数科学力世界1位の国の教育との比較から」講師、2009年7月10日

文部科学省「海外教育事情調査研究会」講師、2009年11月17日

沢登芙美子

1. 主な研究活動

〈文化芸術活動〉

1 三味線演奏「京鹿の子娘道成寺」共演、2005年12月、甲府総合市民会館芸術ホール。

2 長唄演奏杵屋勝五郎作曲「小鍛冶」共演、2005年12月、常盤。唄 杵屋勝一佳・杵屋勝一子・沢登芙美子他、三味線 杵屋勝静也・杵屋勝由葵・杵屋勝静る・杵屋勝弥也他、笛 福原百恭、太鼓 盧慶順、小鼓 星英顕・島村聖香、大鼓 石井千鶴

3 三味線演奏 杵屋勝三郎作曲「風流船揃」共演、2005年12月、常盤。

4 長唄演奏「鶴亀」共演、2006年12月、山梨市民会館。唄 杵屋勝一佳・杵屋勝一子・杵屋勝乙佳・沢登芙美子他、小鼓 石井千鶴・望月太喜恵、大鼓 堅田喜代実、太鼓 島村聖香

5 長唄演奏「まかしょ」共演、2006年12月、山梨市民会館。

6 三味線演奏 九世杵屋六佐衛門作曲「越後獅子」2006年12月、山梨市民会館。三味線 杵屋勝静也・杵屋勝由葵・杵屋勝静る・杵屋勝弥也、沢登芙美子他、唄 杵屋勝一佳・杵屋勝理恵・杵屋勝一子、笛 福原百恭、小鼓 石井千鶴・望月太喜恵、大鼓 堅田喜代実・島村聖香

7 長唄演奏 四世杵屋六三郎作曲「勸進帳」共演、2008年1月、山梨市民会館。三味線 杵屋勝静也・杵屋勝弥也・杵屋勝由葵・杵屋和稔美・沢登芙美子他

8 三味線演奏 四世杵屋六三郎作曲「藤娘」共演、2008年1月、山梨市民会館。三味線 杵屋勝静也・杵屋勝弥也・杵屋勝由葵・杵屋和稔美・沢登芙美子他、囃子 望月太喜恵社中

9 三味線演奏 十世杵屋六佐衛門作曲「秋の色種」共演、2008年1月、山梨市民会館。三味線 沢登芙美子・杵屋勝静也、唄 杵屋勝一佳、箏 安井和綾、笛 福原百恭

10 三味線演奏 三世杵屋正治郎作曲「元禄花見踊」共演、2008年12月、山梨県民文化ホール。三味線 沢登芙美子・岡安喜和・鳥羽屋里夕・東音山口由紀、唄 東音浅見文子・圓井英

子・河合夏奈子・守屋紗弥香、囃子 中川善雄・望月太喜男・望月佐太郎・望月太意之介・藤舎呂裕・梅屋喜三郎

- 11 三味線演奏「紙人形」「お月さま」共演、2008年12月、山梨県民文化ホール。志村かしわ・沢登芙美子・人間形成学生
- 12 長唄演奏「末広狩」共演、2008年12月、山梨県民文化ホール。
- 13 三味線演奏「末広狩」共演、2009年9月、紫山会館（東京）。
- 14 三味線演奏 池田弥三郎作詞 山田抄太郎作曲「雨の四季」共演、2009年9月、紫山会館（東京）。唄 志村かしわ・東音圓井英子・河合夏奈子・岡安喜喬、三味線 沢登芙美子・東音岩田喜美子・川辺孝子・山口由紀
- 15 長唄演奏 二世杵屋六三郎作曲「娘七種」2009年9月、紫山会館（東京）。唄 沢登芙美子・東音志村かしわ・守屋紗弥香、三味線 鳥羽里夕・東音山口由紀・植松美名
- 16 三味線演奏「雨の四季」共演、2009年10月、山梨県民文化ホール。三味線 岡安喜和・赤木夕希子・沢登芙美子、唄 岡安喜和代・岡安喜喬・岡安喜和沙彩

2. 主な社会活動

①主な所属学会・研究団体、行政機関・関係団体等審議会等活動

日本音楽教育学会、日本民俗音楽学会、日本保育学会

山梨県社会福祉協議会福祉サービス第三者評価委員（2002年～2005年）

甲府警察署協議会委員（2005年～現在に至る）

山梨県防災会議水防部会委員（2008年～現在に至る）

②主な研修会・講演会等の活動（地域貢献活動を含む）

〈子育て支援センター講師〉

「音遊び」「わらべうた」「ショータイム」等

2005年5月25日、10月26日 甲府市北部幼児教育センター

2006年5月26日 甲府市中央幼児教育セン

ター、10月25日甲府市北部幼児教育センター

2007年1月31日 甲府市北部幼児教育セン

ター、6月27日甲府市中央幼児教育センター

2008年7月2日 甲府市北部幼児教育センター

2009年1月28日 甲府市北部幼児教育セン

ター、7月1日甲府市北部幼児教育センター

〈研修会等講師〉

「環境と育ち」私立幼稚園研究会 関東ブロック大会 2006年8月2日、双葉幼稚園

「音楽表現を考える」Ⅰ 山梨県私立幼稚園研究

会 2007年7月11日、甲府みなみ幼稚園

「音楽表現を考える」Ⅱ 山梨県私立幼稚園研究

会 2007年8月1日、甲府西稚園

「音から音楽へ」『音楽ユビキタス』大学コンソー

シアムやまなし、2008年8月1日 桜座

〈地域交流演奏会〉

「山梨県立大学と長唄を楽しむ会による長唄交

流演奏会」2007年12月16日、山梨県立大

学飯田キャンパス講堂。「藤娘」「秋の色種」

「勧進帳」本学学生と地域の方々との共演。

囃子 望月太喜恵社中、唄 杵屋勝一佳他、箏

安井和綾、三味線 本学学生他

高野 牧子

1. 主な研究活動

〈論文〉

1、単著「Movement Analysis of “The Green Table”」『International Council of Kineto-graphy LABAN/LABANOTATION』ISSN -1013-4468、vol 2、2005年、pp.283-293

2、単著「イギリスにおける親子ムーブメント教室」『山梨県立大学人間福祉学部紀要』第1号、2006年3月、pp.65-72

3、単著「幼児と保護者を対象とした身体表現の指導構造」(社)日本女子体育連盟『学術研究』第23号、2007年12月、pp.51-62

4、単著「ラバン理論に基づいた Creative Dance 指導に関する考察」『山梨県立大学人間福祉学部紀要』第2号、2007年3月、pp.41-55

- 5、共著「ダンスサーキット」による表現運動（実践研究）」(株)日本女子体育連盟『学術研究』第24号、2008年3月、pp.25-40
- 6、単著「幼児期の欲求場面における身体表現による母子間のコミュニケーション」『山梨県立大学人間福祉学部紀要』第4号、2009年3月、pp.21-29
- 7、単著「地域領域拠点での親子活動“ふれあい遊び・身体表現遊び”」『保健の科学』第51巻第6号、2009年6月、pp.391-396
〈著書〉
- 8、分担執筆『子どもの身体表現』西洋子、本山益子編著、市村出版、2009年4月、pp.56-61、72-75、131-132、
〈学術雑誌等〉
- 9、単著「親子で楽しむ身体表現あそび」日本保育学会第59回大会発表論文集、2006年5月、pp.292-293
- 10、共著「アイディア集めて みんなで創る想像空間ー山梨発！ 場の演出を生かしたダンス・サーキット」、第40回全国女子体育研究大会号、2006年11月、pp.32-43
- 11、単著、巻頭言「遊ぶ」と「学ぶ」『女子体育』、第49巻1号、2007年1月、pp.4-6
- 12、単著「乳幼児期の身体表現によるコミュニケーション」日本保育学会第60回大会発表論文集、2007年5月、pp.748-749
- 13、単著「動きあそびから表現へ」『女子体育』第49巻第7号、2007年7.8月、pp.26-27
- 14、単著「閲覧室『子どもの「脳」は肌にある』」『女子体育』第49巻第9号、2007年9月、pp.59
- 15、単著、書評『ルドルフ・ラバン』『舞踊学』第30号、2008年3月、
- 16、単著「私のおすすめ『ストレッチ布』」『女子体育』第50巻5号、2008年5月、pp.58
- 17、共著「からだ・表現・かかわりⅡ」日本保育学会第61回大会発表論文集、2008年5月、p.123
- 18、単著「母親が「見る」子どもの表現・子どもが「見せる」表現」『女子体育』第50巻6

号、2008年6月、pp.14-19

- 19、共著「「親育ち」をサポート やまなし「親」学習プログラム」『職員研修』第41巻No.9、pp.38-40
- 20、単著「母子間の身体表現による相互作用」日本保育学会第62回大会発表論文集、2009年4月、p.763

2. 主な社会活動

①主な所属学会・研究団体、行政機関・関係団体等審議会等活動

日本体育学会 1986年9月～、舞踊学会 1988年4月～、日本保育学会 1996年4月～、人類学会 2000年4月～
山梨県女子体育連盟理事 1997年4月～、山梨県大規模店設置審議会委員 2004年4月～
YBS「子育て日記」番組作成委員 2004年4月～2006年3月

社団法人日本女子体育連盟理事 2008年4月～

②主な研修会・講演会等の活動（地域貢献活動を含む）

1997年8月30日 山梨県女子体育連盟 マスゲーム講習会 講師 年1回（～現在に至る）
2001年11月21日 甲府市子育て支援事業 2歳児コース 講師（～現在に至る）
2005年5月28日 山梨県女子体育連盟第31回女子体育研究大会 講師
2005年7月3日 第1回 大学ダンスフォーラム in 山梨 開催（～現在に至る）
2005年9月16日 山梨県子育て支援コーディネーター養成講座 年8回講座（～現在に至る）
2006年6月2日～ 富士河口湖町子育て支援（2歳児コース）講師 年10回（～現在に至る）
2006年9月22日～ あけぼの医療福祉センター 親子講座講師 年5回（～現在に至る）
2006年10月14日 笛吹市子育て支援講座 講師 年1回（～現在に至る）
2006年11月2日 (株)日本女子体育連盟第40

回全国女子体育研究大会 第2分科会 幼稚園・小学校の表現 講師・コーディネーター
2006年11月8日 韮崎市子育て支援講座 講師 年1回(～2007年)
2007年2月8日 山中湖村子育て支援講座 講師
2007年7月24日 やまなし「親」学習プログラム作成委員
2007年7月19日 障害児保育研修会 講師
2007年8月13日 (社)日本女子体育連盟 サマーセミナー講師
2007年11月14日 山梨県私立幼稚園協会中部地区研究会講師(～現在に至る)
2007年11月19日 昭和町子育てサポーター養成講座 講師 年1回(～2008年)
2007年11月24日 (社)日本女子体育連盟全国大会(徳島大会)幼稚園部会 指導助言者
2007年12月21日 田富町子育て支援 親子遊び講座 講師
2008年1月17日 大和町子育て支援親子講座 講師
2008年3月8日 南アルプス市 男女共同参画講座出前講座 講師
2008年4月18日 2008年度ことぶき歓学院入学式 講演会 講師
2008年4月26日 甲州市保育士連合会講演 講師
2008年7月21日 音楽療法NPOムジカトゥッティ主催(香川県)親子遊び支援講座 講師
2008年9月20日 甲府商工会議所主催 子育て相談(甲府銀座通り)
2008年10月11日 北杜市保育士研修会 講師
2008年11月14日 (社)日本女子体育連盟全国大会(福岡大会)幼稚園・大学部会指導助言
2009年6月17日 山梨県立吉田高等学校 楽問楽学講座 講師
2009年8月12日 平成21年度茨城県女子体育連盟 幼稚園実技研修会
2009年9月8日 山梨県立城西高等学校 高大連携講座 講師

鳥居美佳子

1. 主な研究活動

〈論文〉

1. 共著「長期連続栄養摂取状況の時間栄養学的検討」、東京家政大学研究紀要 45:21-28、2005年2月
2. 共著「プライマリーケアにおける栄養食事指導のケーススタディ」、東京家政大学附属臨床相談センター紀要 9:11-17、2005年3月
3. 共著「聴覚刺激誘発皮膚血流動態解析システム開発」、日本生理人類学会誌 14:25-32、2009年2月
4. 共著「コンピュータによる連続計算負荷試験システム開発とその応用」、東京家政大学附属臨床相談センター紀要 9:11-17、2009年3月
5. 共著「ウコンによる尋常性痤瘡の治療効果の検討(第1報)」、機能性食品と薬理栄養 4:197-203、2009年4月
6. 共著「ウコンサプリメント投与が皮膚血流反応におよぼす影響」、機能性食品と薬理栄養 5:361-368、2009年5月
7. 共著「女性の卵胞期と黄体期における聴覚刺激誘発皮膚血流反応の比較」、日本生理人類学会誌(採用決定掲載準備中)、2009年10月現在

〈著書〉

1. 共著「中学教育改革シリーズ 20『食育』で中学生の心を育てる」、明治図書出版:22-36、2006年3月
〈学会発表〉
1. 単独「安静時における脳皮膚血流相関」、日本生理人類学会第57回大会、2007年10月
2. 単独「コンピュータによる連続計算負荷試験システム開発とその特徴」、日本生理人類学会第59回大会、2008年10月
3. 単独「尋常性痤瘡におけるウコンサプリメント投与の有用性について」、第5回日本機能性食品医用学会、2008年12月
4. 単独「クレペリン検査時における瞬時計算能におよぼす食事の影響」、日本生理人類学会第

61 回大会、2009 年 9 月

2. 主な社会活動

①主な所属学会・研究団体、行政機関・関係団体等審議会等活動

日本家政学会、日本生理人類学会、日本機能性食品医用学会、日本食育学会

②主な研修会・講演会等の活動（地域貢献活動を含む）

栄養相談（大学生）、東京家政大学保健センター、2007 年 4 月～2009 年 3 月

栄養相談（地域住民）、東京家政大学地域連携協力推進センター、2007 年 10 月～2009 年 3 月

研究会講師、山梨私立幼稚園協会中部地区研究会第 4 分科会、2009 年 6、7 月（予定：2009 年 11 月、2010 年 2 月）

講座講師、甲府市北部幼児教育センター月齢別講座、2009 年 7 月

研修会講師、山梨県子育て支援コーディネーター養成講座、2009 年 9 月

研究会メンバー、大学コンソーシアムやまなし「フィットネス・ウォーキング研究会」（山梨県委託事業）ヘルシーメニューグループ、2009 年 9 月～現在

古屋 祥子

1. 主な研究活動

〈論文〉

1. 単著「木彫における『木成り』と造形についての一考察——樹齢 150 年の時空——」、2005 年 3 月、東京藝術大学大学院修士論文

〈実践報告〉

1. 単著「塑像授業の有効性——「発見」と「学び」のプロセス——」、2009 年 5 月、「美術教育研究」第 14 号、P 128～137

〈学会・研究会発表〉

1. 単独「彫刻の眼差し—平面から立体への試みを通して—」、2008 年 7 月、第 15 回美術解剖学会大会

2. 単独「『美術の授業』のイメージ—〈コンプ

レックス〉の原因と弊害—」、2008 年 11 月、第 14 回美術教育研究大会

〈実務業績〉

1. ドラマ撮影美術協力（単独）、2005 年 9 月、フジテレビ

2. 新作発表展示会のための和紙レリーフ依頼制作（単独）、2006 年 6 月、青山蔦サロン

〈文化芸術活動〉

* 美術作品発表〈海外〉

1. 「HUMAN TAPESTRY IN A POND」（単独）、2005 年 11 月、IV BIENAL INTERNACIONAL DE MEDALHA CONTENPORANEA—SEIXAL [Sexal、Portugal]（セイザル現代メダル国際ビエンナーレ）

2. 「Reality」（単独）、2007 年 9 月、30 th F. I. D. E. M. World Congress [Colorado Springs]（国際メダル協会コロラド大会）

3. 「What is thing called medal」（単独）、2008 年 6 月、IV BIENAL INTERNACIONAL DE MEDALHA CONTENPORANEA—SEIXAL [Sexal、Portugal]（セイザル現代メダル国際ビエンナーレ）

* 美術作品発表〈国内〉

1. 「星を待つミケ」（単独）、2005 年 3 月、東京藝術大学大学院修了制作展 [東京藝術大学美術館]

2. 「星を待つ娘・85 歳」（単独）、2006 年 4 月、80 th 国展 [東京都美術館]

3. 「祭」（単独）、2006 年 11 月、『つながりの中で』展 [六本木スペース UMU]

4. 「Reality」（単独）、2007 年 4 月、29 th J. A. M. A. 創作メダル展 [文京区シビックセンター]

5. 「What is your treasure? No.1、No.2、No.3」（単独）、2007 年 4 月、29 th J. A. M. A. 創作メダル展 [文京区シビックセンター]

6. 「黒い白王冠」（単独）、2007 年 4 月、81 th 国展 [国立新美術館]

7. 「青い靴」（単独）、2008 年 4 月、82 th 国展 [国立新美術館]

8. 「青い靴」（単独）、2008 年 6 月、「羽ばたけ若きアーティスト」展 [東急ハンズ渋谷店]

9. 「Extend the circle」(単独)、2008 年 11 月、30 th J. A. M. A. 創作メダル展 [文京区シビックセンター]
10. 「幸福な鳥」(単独)、2008 年 11 月、30 th J. A. M. A. 創作メダル展 [文京区シビックセンター]
11. 「What is thing called medal」(単独)、2008 年 11 月、30 th J. A. M. A. 創作メダル展 [文京区シビックセンター]

2. 主な社会活動

- ①主な所属学会・研究団体、行政機関・関係団体等審議会等活動
日本藝術メダル協会(J. A. M. A.) 会員、2000 年 11 月～
F. I. D. E. M. (Fedelation Internationale de la Medaille) (国際メダル協会) 会員、2002 年 9 月～
美術教育研究会 会員、2003 年 9 月～
美術解剖学会 会員、2008 年 5 月～
美術教育研究会 幹事、2008 年 6 月～
- ②主な研修会・講演会等の活動(地域貢献活動を含む)
中学生のためのミニ講演会 講師 [市川大門町立市川中学校]、2005 年 11 月
東京藝術大学 120 周年企画シンポジウム「芸術と教育 2007」スタッフ、2007 年 11 月
公開講座 講師 [甲府市幼児教育センター(中央部)]、2009 年 10 月

堀井啓幸

1. 主な研究活動

〈主な論文・著書等〉

- 1、共編著(堀井・黒羽正巳編)『教師の学びあいが生まれる校内研修』教育開発研究所、2005 年 8 月、～202 ページ(執筆箇所: 1-1 「校内研修の実際はどうなっているか」、3-7 「子どもをまるごととらえる視点をもつ、4-10 「夏季研修を生かす」、4-12 「非常勤教師を生かす」)
- 2、単著「イギリスにおける教員の人事評価と職能開発ーイギリスにおける業績評価と指導力不足教員への対応の問題を中心にー」八尾坂修編著『教員人事評価と職能開発ー日本と諸外国の研究ー』風間書房、2005 年 12 月、40～57 ページ
- 3、単著「開かれた学校と学校の安全管理の関係性についての考察ー複合的学校施設としての特徴を生かして学校の安全に積極的に対応している S 小学校の事例に着目してー」『山梨県立大学人間福祉学部紀要』第 2 号、2006 年 3 月、81～93 ページ
- 4、単著「学校経営研究の実践的有用性を問う(総括)」大塚学校経営研究会『学校経営研究』第 31 巻、2006 年 4 月、32～41 ページ
- 5、単著「課題研究: 学校教育における評価問題の総合的研究③学校教育における評価問題の総合的研究ー共同と競争に揺れる時代の学校評価の行方ー」日本学校教育学会編『学校教育研究 21』、2006 年 8 月、241～245 ページ
- 6、単著「能力主義的教員評価に関する考察ーイギリスにおける実態調査を中心にー」『山梨県立大学人間福祉学部紀要』第 2 号、2007 年 3 月、31～40 ページ
- 7、共編著(天笠茂・佐藤晴雄・堀井監修)『管理職のための学校経営チェックポイント』第一法規、2007 年 3 月、～175 ページ(執筆箇所: 「学校評価(外部評価)システムの構築」、「学校管理職・教職員の資質向上にかかわる教育法令の改廃情報」、「いじめ(自殺)問題の変遷と対応のための基本知識」等)

- 8、単著「教員養成課程の今日的課題－問われる教職課程経営－」小島弘道編『時代の転換と学校経営改革－学校のガバナンスとマネジメント－』学文社、2007年5月、116～126 ページ
 - 9、単著「イギリスにおける能力主義的教員評価－実態調査から－」大桃敏行・上杉孝實・井ノ口淳三・植田健男編『教育改革の国際比較』ミネルヴァ書房、2007年9月、146～163 ページ
 - 10、単著「教育制度国外最前線情報－イギリスにおける教員評価－」日本教育制度学会『教育制度研究』14号、2007年11月、217～221 ページ
 - 11、単著「学校運営協議会における『人事意見』『承認』『研修』」コミュニティスクール研究会『コミュニティ・スクールの実態と成果に関する調査研究報告書』（平成19年度財団法人文教協会研究助成報告書、研究代表者：佐藤晴雄）、2008年3月、40～45 ページ
 - 12、単著「学校教育と学校施設・設備の関係性についての考察－保護者・地域住民参画型学校建築の新プロセスに着目して－」日本学校教育学会編『日本学校教育学会創立20周年記念論文集 学校教育の「理論知」と「実践知」その現状と新たな関係性の探究』教育開発研究所、2008年3月、128～145 ページ
- 〈その他論文・著書〉
- 1、共編著（堀井・佐藤晴雄監修）『特色ある学校づくり』第一法規、2005年～加除式
 - 2、単著「イギリスの教員法制と教員政策」杉原誠四郎監修（白石裕・葉養正明・結城忠・若井彌一編集）『必携 学校小六法』協同出版、2005年～
 - 3、単著「特別活動」『最新 教育基本用語』小学館、2005年、2007年、2009年
 - 4、単著「教育行政資料研究－文教施策の展開」『別冊教職研修』教育開発研究所、2006年8月～2007年5月連載
 - 5、単著「想定Q & Aで考える面接試験」『総合教育技術』小学館、2009年4月～連載
 - 6、共著（福本みちよ・堀井著）『実践教育法規 2009』小学館、2009年8月、～146 ページ

2. 主な社会活動

- ①主な所属学会・研究団体、行政機関・関係団体等審議会等活動
- 〈学会等〉
- 日本建築学会「教育施設小委員会委員」1997年5月～
 - 日本学習社会学会「常任理事」2003年11月～
 - 文科省「中教審」教員養成部会「協力者グループ委員」2006年2月～6月
 - 国立教育政策研究所「学校施設の質的水準に関する基礎的研究」協力者、2007年4月～
 - 独立法人教員研修センター「平成19年度教育課題研修指導者海外派遣プログラムシニアアドバイザー：ニュージーランドの学校間連携」2007年6月～2008年3月
 - 文科省「国による学校評価」委員、2007年9月～
- 〈山梨県内〉
- 甲斐市学校評価推進協議会委員、2007年9月～2008年3月
 - 南アルプス市学校評価推進協議会委員、2008年5月～2009年3月
 - 山梨県学校評価推進協議会委員（委員長）、2009年
 - 山梨県教育振興基本計画策定委員会委員、2008年6月～2009年3月
 - 甲斐市創甲斐・教育推進大綱策定委員、2009年6月～
 - 山梨学校応援団育成協議会委員（委員長）、2008年12月～
 - 山梨県立城西高等学校学校評議員、2008年5月～
 - 新時代に対応した高等学校教育改革推進協議会委員、2008年6月～2009年3月
 - 山梨県立科学館協議会委員（2008年8月より委員長）、2006年7月～
- ②主な研修会・講演会等の活動（地域貢献活動を含む、山梨県内の活動を除く）
- 日本女性会議第11分科会「教育」パネリスト、福井商工会議所にて、2006年3月

関東甲信越静公民館研究大会基調講演「人づくり・地域づくりのための公民館の役割ー「出向いていく社会教育」への期待ー」富士河口湖ステラシアターにて、2009年8月

福島県学校支援地域本部事業コーディネーター養成講座「学校支援ボランティアコーディネーターの役割を考える」南会津町御倉入交流館にて、2009年9月

山田 千明

1. 主な研究活動

〈著書〉

1. 単著「韓国ー主題活動による生活に根ざした就学前教育」池田充裕・山田千明編著『アジアの就学前教育ー幼児教育の制度・カリキュラム・実践』、明石書店、2006年3月、9～33ページ

2. 単著「乳幼児期における多様性尊重の教育ーアンチバイアス教育を手がかりとして」山田千明編著『多文化に生きる子どもたちー乳幼児期からの異文化間教育』、明石書店、2006年6月、102～132ページ

3. 単著「子どもの社会的自立と家庭の役割・機能」山口満編『子どもの「社会的自立」の基礎を培う』教職研修総合特集（読本シリーズNo. 174）教育開発研究所、2007年4月、60～63ページ

4. 単著「アメリカ合衆国ー『民主主義尊重』による『統一』と人格教育」嶺井明子編著『世界のシティズンシップ教育ーグローバル時代の国民/市民形成』、東信堂、2007年6月、121～132ページ

〈論文〉

1. 共著「多文化に配慮した保育ー中国と日本の違いとその背景について考えるー」共栄学園短期大学社会福祉学科児童福祉学専攻『共栄児童福祉研究』第13号、2006年3月、65～70ページ

2. 単著「日本比較教育学会、異文化間教育学会の動向と国際理解教育」平成15年度～平成17年度科学研究費補助金基盤研究(B)(1)『グローバル時代に対応した国際理解教育のカリキュラ

ム開発に関する理論的・実践的研究』研究成果報告書 第2分冊（理論研究）（研究代表者：多田孝志）（課題番号13410089）、2006年5月、79～99ページ

3. 単著「異文化間移動する子どもの発達支援のあり方に関する一考察ー日系ブラジル人の子どもの保育を事例としてー」国際幼児教育学会編『国際幼児教育研究』第13号、2006年10月、160～178ページ

4. 単著「アンチバイアス・カリキュラムーアメリカにおける意義とその他の地域での展開に関する検討」平成17年度科学研究費補助金・基盤研究(B)(1)『ブラジルにおける就学前教育施設と異文化間異動をする日系ブラジル人子女ー乳幼児期からの異文化間教育カリキュラム作りに向けての示唆ー』研究成果報告書（研究代表者：塘利枝子）（課題番号16220158）、2007年3月

5. 単著「アメリカ合衆国のシティズンシップ教育ー『民主主義尊重』による『統一』と人格教育」平成17年度～平成19年度科学研究費補助金基盤研究(B)『価値多元化社会におけるシティズンシップ教育の構築に関する国際的比較研究』研究成果報告書（研究代表者：嶺井明子）（課題願号17330177）2008年3月、122～136ページ

6. 共著「病棟保育における保育士職の専門性」共栄学園短期大学『共栄学園短期大学研究紀要』第25号、2009年3月、137～153ページ

7. 「保育士養成校における病棟保育実践学習の意義と課題」共栄学園短期大学『共栄学園短期大学研究紀要』第25号、2009年3月、155～163ページ

〈学会発表〉

1. 個人「アメリカにおけるシティズンシップ教育ー放課後サービスラーニングの事例を通してー」日本比較教育学会第43回大会（筑波大学）、2007年6月

2. 共同「シティズンシップ教育における多様性の排除と包摂ードイツ・オーストラリア・カナダ・アメリカの事例から」日本教育学会第66

回大会（於慶応大学）、2007年8月

3. 共同「Education for Social Cohesion against/in Diversity: Citizenship Education in Japan、Germany、Australia、USA the 13th WCCES in Sarajevo」世界比較教育学会第13回大会（於サラエボ大学）、2007年9月
4. 共同「日系国際児のアイデンティティ形成と教育支援」異文化間教育学会第29回大会ケース/パネル型（於京都外国語大学）、2008年6月
5. 共同「日系国際児における母親の言語・文化の教育環境—台湾とイングランドを中心に—」異文化間教育学会第30回大会（於東京学芸大学）、2009年5月
6. 指定討論「少子化時代の幼児教育・保育台湾におけるカレントトピックス」日本保育学会第62回大会国際シンポジウム（於千葉大学）、2009年5月

2. 主な社会活動

- ①主な所属学会・研究団体、行政機関・関係団体等審議会等活動

異文化間教育学会「紀要編集委員」2007年6月～現在

国際幼児教育学会「理事」2006年4月～現在
日本国際理解教育学会「研究委員会研究協力員」2002年6月～2007年6月、「監事」2007年6月～現在

- ②主な研修会・講演会等の活動（地域貢献活動を含む）

研修会講演「保育者の役割と子どもの理解」『埼玉県平成18年度事業所内保育施設等保育従事者研修会』彩の国すこやかプラザにて、2006年9月24日

フォーラムパネリスト「学力とは・・・サービスラーニングの視点から」『東京学芸大学国際教育センター第8回外国人児童生徒教育フォーラムパネルディスカッション「外国人児童生徒教育における学力とは」』、中野サンプラザにて、2007年10月6日

父母の会講演「多文化共生時代の保育—異文化

理解、多様性の尊重、新しい文化の生成—」

『岩井保育園父母の会講演会』岩井保育園（茨城県）にて、2008年7月

養成講座講演「子育て支援の文化間比較」『平成21年度子育て支援コーディネーター養成講座』山梨県立大学にて、2009年6月12日

研修会パネリスト「シティズン・リテラシーの観点から」『平成21年度山梨県私立幼稚園協会設置者・園長等研修会パネルディスカッション「続子どもへの責任」』かいてらすにて、2009年7月2日

研修会講演「新幼稚園教育要領と具体的実践について」『平成21年度山梨県幼稚園等新規採用教員研修会』山梨県立青少年センターにて、2009年8月5日

ワークショップ講師「異文化体験アクティビティ」『平成21年度県民コミュニティカレッジ地域ベース講座 ～コミュニケーション入門～異なる背景のひとびとと理解し合うために』山梨県立大学にて、2009年10月10日